

令和2年度使用小学校の教科用図書

研 究 資 料

令和元年7月

玉野市教育委員会

教科 国語

種目 国語

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 国語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		101	201	301	401	501	601
		102	202	302	402		

(1) 内容の特徴及び表現

- ・各単元の学習が「つかむ・取り組む・振り返る」の構成になっているとともに、各活動時の課題や問いが適切に示されているので、学習過程について見通しをもちやすい構成になっている。
- ・学習指導要領の改訂をふまえ、各単元で身につけさせたい力が「言葉の力」として単元の最初に示されており、学びのポイントがつかみやすい。また、「生かそう」という項目が設けられており、身につけた言葉の力を他教科や日常生活に生かすように示唆している。
- ・語彙指導の改善として、各学年に「ことばあつめ」と「言葉の広場」が掲載されており、言葉を集め、文の中で使えることができるように工夫されている。
- ・各学年の「本は友達」では、読書にまつわる作家からのメッセージが紹介されているので、読書に対する児童の興味を引き、読書指導の充実につながる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・1年生～4年生は上下巻2分冊構成になっており軽量化が図られている。
- ・各学年に適した字体と大きさ、太さ、行間が採用されている。写真も、必要に応じて大きく掲載されていて非常に見やすい。イラストも効果的に配置されており、色合いも柔らかかで、どの子どもにも読みやすく配慮されている。ただし、1年生上の最初の単元のイラストは多少、色合いのコントラストが強く感じられ、評価が分かれるところである。また、3年下では、点字表が示されているが、これは、実際に凹凸があった方が実感をもちやすいと思われる。
- ・扱われている文学的文章は、民話・外国文学などをはじめ多岐にわたり、心に響く作品がバランスよく掲載されている。その他の単元でも、防災・福祉・平和・情報化社会・技術革新・経済格差など、現代的課題について多く取り扱われている。
- ・二年下説明文「あなのやくわり」では、コンセントの穴の役割が図とともに説明されているが、子どもが実際に試さないように注意を喚起する必要があると思われる。

(3) 総合所見

- ・身につけさせたい力と言語活動が明確に示され、学習過程も明示されており、新学習指導要領で重視されている「主体的・対話的で、深い学び」が実現できる内容構成になっている。
- ・学年によってはイラストの工夫が必要であり、内容の取り扱いに留意する必要がある教材も見られた。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		103	203	303	403	503	603
		104	204	304	404	504	604

(1) 内容の特徴及び表現

- ・学習過程の流れは上巻の巻頭にまとめて示されており、読み単元の最後にある学習のてびきに示された言語活動と見比べないといけないため、児童によっては学習の流れをつかみにくいと思われる。
- ・身につけさせたい力が各学年上巻の巻頭の「つけたい力」と巻末の資料編に示されている。また各単元の終わりに「こくごのカギ」として、押さえておくべき点をまとめているので、児童は各単元で身につけるべき内容を確認することができる。
- ・上巻末には「言葉の部屋」が設けられ、語彙を増やす配慮がされている。また、2年上の原稿用紙の書き方や4年上の文章のまとまりと分かりやすさのような、書くことの具体的な指導のページが設けられ、作文指導なども時間をとって指導しやすい。
- ・児童の興味関心を引き出せるよう、5年上「物語の人物が答えます」のように、ゲーム形式やクイズなどの活動が盛り込まれていて、読書に対する幅広い親しみ方が紹介されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・6年生まで2分冊構成になっており、軽量化を図ると共に、巻末付録の充実を図っている。
- ・文字は教科書体で本文を構成し、また行間や図版などとの間隔を広くすることで読みやすくしている。色を用いた図版などから情報を読み取る場合には、色の違いだけにたよらず、形や図版の模様によっても区別することができるようになっている。
- ・総合学習との関連が図れるように、4年上では安全マップについての教材が、3年生では地域の方への案内状を書くような教材が盛り込まれている。また「防災」や「情報」など今日的教育課題を扱った教材が入っている。

(3) 総合所見

- ・学力や学習過程の明示など、新学習指導要領で重視される「主体的・対話的で、深い学び」を意識した内容構成になっている。
- ・読むことの学習過程が「学習のてびき」に示されているが、学習過程はつかみにくく感じ、指導する際には配慮が必要である。

令和 2 年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		105	205	305	405	505	605
		106	206	306	406	506	606

(1) 内容の特徴及び表現

- ・てびきでは、指導要領で示された学習過程に沿って言語活動が提示されており、見通しをもって主体的な学びを引き出せるようにしている。あわせて、イラストの人物の思考や対話的な学習の例示を通して、自分の考えを形成するための観点が示されている。
- ・各単元で身につけさせたい力が、「ここが大事」として明示されている。第2学年以上の教科書冒頭で「ここが大事」を時系列で示すことによって学習の見通しをもてるようにするとともに、各巻末付録で「ここが大事」をまとめて示すことで、学びを自覚できるようにしている。
- ・語彙が自然に広がるように、学んだ言葉をカテゴリーに分けて示し、単元末において「言葉を学ぼう」「言葉を増やそう」としてまとめている。また、巻末付録の「言葉の木」では発達段階に応じた言葉を、「言葉のまとめ」では情報の扱い方にかかわる文型や話形の例を、それぞれまとめて示している。
- ・単元末の「本を読もう」、巻末付録の「〇年生で読みたい本」では、読書意欲につながるように、全ての図書について表紙絵とあらすじが紹介されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・上下巻の2分冊構成とし、軽量化を図るとともに、巻末付録を充実させている。
- ・巻末の「漢字を学ぼう」では、全てを硬筆の模範書体とすることで、字形が曖昧にならないようにしている。また、カラーユニバーサルデザインやUDフォントを採用し、誰もが学びやすいことを大切にしている。第4学年下巻「調べてわかったことを発表しよう」では、点字の立体印刷を採用している。
- ・扱われている文章は多岐にわたり、現代的課題についても触れている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「情報活用」と関連させた（または関連づけられる）「読むこと」の説明的文章の教材が設定されており、学びを活用することが期待される。

(3) 総合所見

- ・積み上げていった「学び」を、巻末付録で整理しており、学んだことを振り返って自覚しやすい。
- ・指導要領に示された学習過程にそって言語活動が示されており、特に「読むこと」の教材については取り組みやすい。一方で、「話すこと・聞くこと」「書くこと」についても学習過程が示されるものの、その表記は小さい。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	国語	種目	国語				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
38・光村		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		107	207	307	407	507	607
		108	208	308	408		

(1) 内容の特徴及び表現

- ・各単元で、学びの姿が明確になるよう、教材に続いて学習過程が示されている。学習指導要領の改訂を意識し、6年間を通してそれぞれの領域で4つの展開に整理して明示されており、見通しをもって主体的な学びを引き出せるように工夫されている。あわせて、イラストの人物の思考や対話的な学習の例示を通して、自分の考えを形成するための観点が示されている。
- ・学習指導要領の改訂を踏まえ、各単元で身につけさせたい力が「たいせつ」として示されており、学んだことが自覚できるようになっている。また、「たいせつ」の横に「いかそう」が示されており、次の国語の学習や他教科の学習とのつながりを意識できるように工夫されている。
- ・語彙指導の改善として、巻末には当該学年で取り上げられた「学習に用いる言葉」とともに、前学年までに学習した用語も一緒に示され、言葉の意味や使い方を定着できるように配慮されている。また、言葉による見方・考え方を働かせることができるように、「言葉の宝箱」を示すことで、乏しい語彙を支え、表現を豊かにする工夫がなされている。
- ・6年間を通して、読書によって多様な見方や考え方に触れることができるように、感想の交流や交流に始まり、作家やテーマに着目した本の選び方などの活動が、発達段階に応じて計画的に配列されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・第4学年までは、上下巻の2分冊構成で、軽量化を図るとともに、巻末付録を充実させている。
- ・低学年は、形として認識することを意識して見やすい太教科書体を使用し、中学年以上は、読みやすさを重視しているため従来の教科書体を使用されている。サイズが小さな文字の場合はUD教科書体を使うなど、学年や発達段階に応じ、書体が工夫されている。カラーUDも意識した編集となっている。
- ・扱われている文章は、友情、ファンタジー、命など幅広く、時代を超えて親しまれる作品も発達段階に応じて計画的に配列されている。また、説明的文章や書くことの単元では、身近なことや生活に関わるだけでなく、未知のものへの追求、これからの社会に関わる様々な問題についてバランスよく取り上げられている。

(3) 総合所見

- ・身につけさせたい力と言語活動が明確に示され、学習過程も明示されており、新学習指導要領で重視されている「主体的・対話的で、深い学び」が実現できる内容構成になっている。
- ・学習の例示や「言葉の宝箱」の掲載など、児童の主体的な活動を喚起させる工夫が随所に見られる。

教科 国語

種目 書写

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		101	201	301	401	501	601

(1) 内容の特徴及び表現

- ・学習する題材を通して学ぶべき原理・原則を「書写のかぎ」と名付け、「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」という学習過程の位置づけており、何を中心に学ぶのかがわかりやすい構成になっている。各学年の巻末には自分で選んで活用できるように、これまで学習した「書写のかぎ」が一覧で示されており、自ら考え表現する力を育てるための工夫も見られる。
- ・第1・2学年で「花さかじいさん」「いろは歌」、第3・4学年で「百人一首」、第5・6年生で「竹取物語」「枕草子」「論語」「日本の文字の歴史」等が学習教材として取り上げられている。また、第3学年以降の巻末でローマ字表が掲載されていたり、第5学年で「世界の文字のいろいろ」、第6学年で「外国を紹介するためのポスターの書き方」が示されていたり、日本の文化や他国の文化に触れることができる教材が取り上げられている。
- ・第5学年で、「目的にあった筆記用具」、第6学年で、「書く速さ」が学習教材として取り上げられていたり、ノートやはがき、ポスターや新聞などに書く活動が設定されていたり、日常生活のいろいろな場面で、書写で学習したことを生かすことができるように工夫されている。
- ・特別な支援が必要な児童に配慮し、すっきりとした紙面で、教材の文字に集中しやすくなっていたり、色覚多様性への配慮をした色づかいになっていたりする。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・第1・2学年では3～4単元、第3～6学年では、8～9単元で構成され、毛筆教材を半紙の大きさで示すことができるよう、B5版を横に広げたAB版で構成されている。第3～6年では、内容を系統的に示すインデックスが掲載され、第1・2学年では、指導要領の改訂に伴い、水書用紙が巻末に付けられている。

(3) 総合所見

- ・学習のポイントとなる「書写のかぎ」を中心にした構成で、学習過程が明瞭でわかりやすい。情報量も多いが、手本となる文字はバランスよく美しく書かれており、紙面はすっきりとして、学習に集中しやすい。どの学年においても、随所に書き込むことができる欄が設けられており、学習を効果的に進めることができる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		102	202	302	402	502	602

(1) 内容の特徴及び表現

- ・新学習指導要領の方向性を踏まえ、機械的な書字練習ではなく、思考力や表現力をはたらかせて取り組めるよう、「主体的・対話的で深い」学習のプロセスになっている。
- ・随所に書き込むことができる欄が設けられており、ノートがなくても教科書に練習できるよう工夫されている。
- ・書写の学びを深めるために、文字に関わる様々な資料（ローマ字、都道府県名、学級新聞など）が全学年に豊富に掲載されている。
- ・第1学年では、字が小さく情報量の多い単元があり、第1学年にはやや理解するのが難しい。
- ・単元の最後には、振り返りが設定されており、学習がより生きるよう配慮されている。
- ・教材や資料を通して、労働の尊さや勤労の意義を考えさせるような作品を掲載している。
- ・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ページにわたり配色とデザインに十分な配慮が施されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全学年6～9単元で構成され、手本が半紙原寸大で取り上げられている。
- ・四部構成となっており、機械的な書字練習ではなく、思考力や表現力をはたらかせて取り組めるよう工夫されている。
- ・低学年には課題の発見を助けるシールを新設し、楽しさを通して学習意欲が高まるよう配慮されているが、低学年にとってシールの大きさが小さく扱いやすいものにはなっていない。

(3) 総合所見

- ・各学年とも、「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」「ふり返ろう」の四部構成に分け、基礎基本的な書写技能の習得を段階的に進めることが可能となっている。また、相手を意識して書く教材を通して、社会との関わりの中で「共に生きる」態度を養えるように工夫されている。
- ・第1学年では、字が小さく情報量の多い単元があり、第1学年にはやや理解するのが難しい。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		103	203	303	403	503	603

(1) 内容の特徴及び表現

- ・どの学年にも「見つける・比べる」「書く・確かめる」「ふり返る・伝え合う」「広げる」という学習の進め方が示されている。
- ・振り返りの場面で、児童がめあてについて書けたかどうかを話し合う場面の写真や言葉の例が書かれており、具体的な活動をイメージしやすくなっている。毎時間の振り返りを記号で書き込むことができるように欄が設けられている。
- ・第5学年で、目的にあった速さやメモの取り方、第6学年で読みやすさを考えたリーフレットの書き方が学習教材として取り上げられている。算数や理科のノートの書き方を示したり、ポスターや新聞などに書く活動が設定されていたり、他教科の学習においても書写で学習したことを生かすことができる工夫がされている。
- ・第1学年では「ありがとうカード」、第4学年では「敬老の日のはがき」、第6学年では『卒業を祝う会』の案内状」等、どの学年においても、発達段階に合った内容の手紙やはがきを書く活動が設定されており、書写で学習したことを日常生活に生かすための教材を多く取り入れている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・第1・2学年では3～4単元、第3～6学年では8～9単元、第6学年では6単元で構成されている。右ページに手本となる文字、左ページに学習過程に沿ってポイントが示されている。
- ・第3学年の毛筆単元は、「よこ画」「たて画」の後に「はらい」が配列されており、毛筆の学習を初めてする第3学年の児童にとっては難しさを感じる配列である。

(3) 総合所見

- ・「見つける・比べる」「書く・確かめる」「ふり返る・伝え合う」「広げる」という学習の進め方が分かりやすい。特にふり返りは視点が示され、工夫されている。また、書写で学習したことを生かすことができるように、国語の学習や他教科の学習の内容を使った活動が多く設定されている。第3学年の毛筆単元は、「よこ画」「たて画」の後に「はらい」が配列されており、毛筆の学習を初めてする第3学年の児童にとっては難しさを感じる配列である。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
38・光村		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		104	204	304	404	504	604

(1) 内容の特徴及び表現

- ・第3学年以上は、書写学習の進め方が「考える」「確かめる」「生かす」になっていて、見通しをもって学習に取り組むことができるように構成されている。
- ・学習内容の終わりに、めあてに対する達成度を確認するための「ふり返ろう」が掲載されている。
- ・読みやすい字体で色もすっきりとしているが、ページによっては字数が多く、読みにくいものもある。
- ・他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、第2学年で「わすれものゼロ作せん」、第5学年で「インタビューメモの書き方」等の単元が取り上げられている。
- ・第1・2学年では、巻頭に書写の学習に向かう「しょしゃたいそう」が設けられている。鉛筆の持ち方は手の位置が実物大で分かりやすく示されている。第3学年以上は毛筆、鉛筆の筆記具の違いから持ち方が比較できるよう構成されている。
- ・伝統的な言語文化について理解を深めるために第2学年で「いろはうた」、第3学年で「俳句」、第4学年で「百人一首」、第5学年で「竹取物語」、第6学年で芭蕉の句等を学習教材として取り上げている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全学年とも4～6単元で構成され、無理のない分量になっている。
- ・硬筆では表現が難しい筆使いの学習のために、「水書シート」が第1学年巻末に付属されている。第3学年には自己評価・相互評価に活用できるシール、第6学年には6年間の書写学習をまとめた「書写ブック」が付属されている。
- ・裏表紙には第1・2学年は50音図見本、第3～6学年には鉛筆や毛筆の正しい持ち方の写真が掲載されている。
- ・第3～6学年の巻頭に「学習の進め方」のページがあり、学習の流れがつかみやすくなっている。

(3) 総合所見

- ・学習の進め方が各学年共通しており、明確で分かりやすいものになっている。分量は適切で系統的な配列になっている。また、他教科や日常生活にもつなげることができるページが全学年に設けられている。「水書シート」やシール、「書写ブック」など楽しんで取り組むことができる教材が付属している。読みやすい字体で色もすっきりとしているが、ページによっては字数が多く、読みにくいものもある。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 国語	種目 書写						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		105	205	305	405	505	605

(1) 内容の特徴及び表現

- ・各学年、書写学習の進め方が「試し書きをしてめあてをもつ」「考える」「確かめる」「まとめ書きをする」「いかす」「振り返る」になっていて明確である。また、重要なポイントは各所に吹き出して示され分かりやすい。
- ・他の教科等の学習内容や日常生活につなげられるよう、第2学年で「かんさつ記ろくを書こう」、第5学年で「手紙の書き方」等の単元が取り上げられている。
- ・各学年に「言葉の窓」のページを設け、学習の基盤となる語彙を書写の側面から取り扱う工夫をしている。
- ・第1学年で「かくしせい」と「えんぴつのもちかた」をそれぞれ見開きページに大きく記載している。書く姿勢を正面と横から示していたり、姿勢の合言葉を記載していたりして工夫されている。第3学年以上は毛筆、鉛筆等の筆記具の違いから持ち方が比較できるよう構成されている。
- ・伝統的な言語文化について理解を深めるために第3学年で「ことわざ」、第4学年で「俳句」、第5学年で「竹取物語」、第6学年で「枕草子」等が学習教材として取り上げられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・第1・2学年は5単元、第3～6学年は6～8単元で、分量は適切であり、学習内容も系統だったものになっている。
- ・硬筆では表現が難しい筆使いの学習のために、「水書きシート」が第1・2学年巻末に付属されている。
- ・第3～6学年の巻頭に「書写学習の進め方」のページがあり、めあてのもちかたから振り返りまでの学習の流れがつかみやすい。
- ・手本の文字は、硬筆・毛筆とも自然な運筆で無理がなく、親しみやすい書風である。しかし、毛筆の手本はやや力強さに欠ける字体になっている。

(3) 総合所見

- ・学習の進め方が各学年共通しており、明確で分かりやすいものになっている。重要なポイントは、吹き出し等で示されている。分量は適切で、系統的な配列になっており、無理なく書く力を身に付けさせることができる。また、他教科や日常生活にもつなげることができるページがあり、工夫されている。手本の文字は、硬筆・毛筆とも自然な運筆で無理がなく、親しみやすい書風である。しかし、毛筆の手本はやや力強さに欠ける字体になっている。

教科 社会

種目 社会

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 社会						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				301	401	501/502	601/602

(1) 内容の特徴及び表現

- ・第3学年では、児童に身近なおかし工場が、第5学年の情報を生かす産業では、最近急速に普及しているコンビニエンスストアとの関わりが取り上げられているので、児童にとって親しみやすい内容であり、興味関心をもって学習に取り組むことができる。
- ・第3学年の生活安全では、「自分達にもできること」、第4学年の防災では、住民同士や家庭の取り組みなどの互助・自助について取り上げられており、自らの課題として、主体的に学習できる。
- ・第4学年「水はどこから」では、岡山県の事例について、また第5学年の工業生産では、船をつくる工場について学習できるようになっており、玉野の児童にとって親近感のある学習内容である。
- ・第6学年の選挙のしくみでは、高校生が投票をしている写真が掲載されており、近い将来自分達にもそのときがやってくることを意識づけることができる。
- ・第6学年の国際交流の学習では、オリンピック・パラリンピックについて取り上げられており、来年の東京オリンピックへの意識の高揚を図ることができる。
- ・第6学年の歴史では、それぞれの時代の想像図が大きく示されていて、オリエンテーションでその時代の様子を楽しく予想することができるようになっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・児童に人気の、ドラえもんキャラクターが問いを投げかける形になっていて興味を引きやすいものになっている。
- ・3・4年生のページ数は他の会社より少ないが、5・6年生は多くなっている。授業時数の確保が難しい可能性がある。
- ・どの学年も、オリエンテーションでイラストや写真が多用されており、視覚的効果がありその後の学習に入っていくやすい。

(3) 総合所見

- ・单元ごとに、「つかむ」「調べる」「まとめる」という3段階で学習が進められているようになり、学習の展開が児童に分かりやすく示されている。
- ・「ひろげる」により、発展的な学習にも取り組むことができるようになっているが、単元の構成をすすめる上で難しさを感じる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 社会						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				303	403	503	603

(1) 内容の特徴及び表現

- ・ 見通しをもって学習を進められるように、巻頭に「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という「社会科の学習の進め方」が示されておりそれに合わせた内容になっている。
- ・ どの学年も「この学習の問い」が毎時間示されており、その学習課題を意識した「まとめる」や次時の課題を意識した「次につなげよう」が示されている。特に第5・6学年の「まとめる」は、学習内容の定着のために、キーワード等を書き込める作業形式のページになっている。
- ・ 実生活に活用できるように「つなげる」のページが設けられていたり（4年生では家庭のごみ調べやごみの減量化、節水等）、発展的な「ひろげる」のページが設けられていたりする。
- ・ 第5学年の「森林とともに生きる」の学習で、玉野市の森林整備事業の写真が使われているが、具体的な事業の内容は書かれていない。
- ・ 写真資料に ア イ ……とカタカナの記号で番号がついている。関連のある資料やキーワード、コラム的なコーナーに「ア の資料から……」イ に関連して……」等、キャプションがついているが、関連資料がない写真資料もあり、写真資料の数が多いと、記号に引きずられ見づらい印象がある。
- ・ 単元の最初の見開きページの絵や図版から学習課題がとらえやすい。また、第3学年では、実際の地形や町の写真と絵地図や地図がリンクするように配列されており、視覚的に考えられた構成になっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の進め方で構成されている。第5学年の学習では、工業に関する「自動車生産」「製鉄」「石油加工」など、選択して学習できる教材が配列されている。
- ・ 第5学年の「日本の国土と人々の暮らし」のページが他社に比べると10ページ程度少ない。
- ・ 紙質やインクが手につきやすい感じで、ページをめくりにくい。

(3) 総合所見

- ・ どの学年も「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習の流れが共通しており、学習の進め方がつかみやすい。
- ・ 資料の見せ方に独自の工夫が感じられるが、それが見づらさにつながっている面もある。
- ・ 紙質のせい、若干、手触りやインクののりに違和感があり、ページをめくりにくい。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	社会	種目	社会				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日 文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				304	404	504	604

(1) 内容の特徴及び表現

- ・全学年で、説明の場面や会話文の前に子どものイラストや吹き出しが使われていて誰の発言か分かり、児童に気づかせたい内容に親しみやすさを感じるように工夫されている。
- ・各学年とも発展的な学習活動として、「わたしたちの学びを生かそう」のページが設けられている。
- ・第3学年では、「自分たちが住んでいる市の移り変わり」で取り上げられている「川越みらいプラン」が、自分たちの住む町の未来を考えるきっかけになり、キャリア教育の視点から玉野市の児童にとって有効である。
- ・第4学年では、系統的に「わたしたちの県」で岡山県を「わたしたちの住んでいる県」で備前市・真庭市・総社市・岡山市を取り上げられている。また、「自然災害から人々を守る活動」では、主に水害が取り上げられ児童が身近なものとして学習できるよう工夫されている。
- ・第5学年は、地域の実情に合わせて、教材を置き換えて学習できる「選たく」が複数用意されており、主体的に学習を進めやすくなっている。
- ・第6学年では、「わが国の政治のはたらき」では、前学年までの学習内容と関わりのある資料が用いられており、学習内容が系統立ったものとなっていて、下の学年で学習したことが、上の学年で生かされるようになっている。また、学習資料として岡山でおきた「渋染一揆」が取り上げられていて、身近な問題として学習することができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各学年の巻頭には、「この教科書の使い方」が分かりやすく解説され、児童が主体的に学習できるように工夫されている。
- ・「見方・考え方コーナー」（「空間」「時間」「関係」）で、考えを深めるための視点と方法をしめして、学習しやすくしている。
- ・「ぎもんを見つける」「調べる」「話し合う」「まとめる」「つたえる」等による学習の流れが、問題解決的な学習となっており、課題を解決しながら学習を進めていきやすい。
- ・さくいんでは、「キーワード」「地名」（地図付）「国名」等を分かりやすくまとめていて、児童が調べやすくしている。

(3) 総合所見

- ・問題解決的な学習がしやすい説明の部分や主体的に学習を進められる単元構成となっている。
- ・レイアウトが工夫され、場面により資料・写真・イラストが効果的に使われている。地図やグラフもコントラストがはっきりしていて分かりやすい。
- ・各学年とも一巻構成とし、一年間の学習の見通しや振り返り活動にも使いやすいものになっている。

教科 社会

種目 地図

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地図						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				301	301	301	301

(1) 内容の特徴及び表現

- ・地図の仕組みと約束事を分かりやすく解説した、地図学習のページが設けられている。数ページにわたって、鳥瞰図→真上からの図→地図という視点の変換がなされている。
- ・多彩なキャラクターの吹き出しにより、地図活用の手がかりが示されている。インターネットの接続先を示す「Dマーク」が設けられていて、情報活用能力を育成する活動が取り組みやすい。しかし目次ページを介してそこから目的のページを探す必要があるので使用しにくい。
- ・日本列島全体の自然災害地図と主な災害の写真、また、ハザードマップの読み方も示され、防災について理解を深められるようになっている。
- ・「日本とそのまわり」には、日本の国土についての統計が載せられている。尖閣諸島や竹島といった日本固有の領土についての詳しい記述や写真が、別ページに掲載されているため、少し扱いにくい。また、我が国の世界遺産の写真と歴史的建築物や伝統的な祭のイラストも掲載されているとともに、日本と世界との歴史上の関わりの特集ページが4ページもあり、年表と地図資料を関連づけて見ることにより、理解を深めることができる。
- ・冒頭のイラストマップで、世界や日本のさまざまな事物が紹介され、地図帳で調べてみたいという児童の意欲を喚起するようにしている。索引にチェック欄を設けて、学習の足跡をたどって、児童が自主的に学習を進めることができるようにしてある。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・右側に全ページの目次があるが、インデックスと対応してなくて目当ての物を探しにくい。
- ・見開きの左ページにインデックスを色分けして配しているが、ページの左側のため、少し見づらい。表紙と裏表紙はかための紙質で使いにくい。
- ・つや消し処理がなされていないため、光って見にくいページがある。

(3) 総合所見

- ・基礎基本の定着を図りつつ、児童が楽しく社会科を学ぶための工夫や発展的な学習の工夫がなされている。
- ・児童が地図に親しみをもつことのできるような工夫が見られる。
- ・日本固有の領土についての詳しい記述や写真が、別ページに掲載されているため、少し扱いにくい。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 社会	種目 地図						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
46・帝国		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				302	302	302	302

(1) 内容の特徴及び表現

- ・地図の基本的考え方について、学校のまわりの写真や上空からの写真、鳥瞰図のイラストなどをまじえて、見開き2ページで簡潔に説明されている。また、「トライ」というコーナーで、地図の基本的な使い方の課題が紹介され、児童が興味をもって学習に取り組みやすいものになっている。
- ・タブレットパソコンなどを用いて、内容を深められるクイズや資料などに直接アクセスする「二次元コード」が示されている。児童の資料活用能力を高めるための優れた工夫である。
- ・「日本の自然災害と防災」では、過去の自然災害や、救助活動の様子に加え、防災・減災に取り組む人々の努力、さらに、「防災マップ」の具体的な作り方などが4ページにわたって掲載され、玉野市の児童の日頃からの防災意識の向上につながるような工夫がされている。巻頭の世界地図で外国語との関わりの学習にも対応している。
- ・「日本の領土とそのまわり」では、東南アジアまで含む地図が掲載され、北方領土や竹島、尖閣諸島の写真と説明を組み合わせて、見開き2ページで領土を確認しやすくしている。また、手話やパラリンピックの記載もあり、インクルーシブ教育への理解も深めることができる。
- ・「地図マスターへの道」が全80か所設置してあり、巻末には自分で塗りつぶしていく、成果の見えるページもある。タブレットからいろいろ学習内容を深めるコンテンツが用意されている。これらは、児童の家庭学習の参考になり、授業以外でも地図帳を使ってみたくなる工夫である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・表紙裏の1ページの左側に目次があり、インデックスと対応して見たいページを探しやすい。
- ・全ページ紙面に艶消しの処理がされており、教室の蛍光灯などの光の反射で見えづらくなることが少なく、全ページ見やすい。
- ・見開きの右ページにはインデックスを色分けして配している。枠があり見やすい。巻末の索引は、赤色、青色、緑色、黒色の4色で示されている。表紙と裏表紙は柔らかく手になじむ紙質である。

(3) 総合所見

- ・基礎基本の定着を図りつつ、児童が楽しく社会科を学ぶための工夫や発展的な学習の工夫がなされている。
- ・新3年生からの地図学習の導入としても、手に取った児童が地図に親しみをもつことのできるような工夫が多く見られる。
- ・4年間の使用にも耐え得る丈夫な製本になっている。

教科 算数

種目 算数

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		101	201	301	401	501	601
		102	202	302	402	502	

(1) 内容の特徴及び表現

- ・単元の終末に「たしかめよう」のページが設けられている。また、巻末に補充問題が設けられている。基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るために、様々な数学的活動が取り上げられている。ただし、第2学年の加減法の筆算や大きな数の学習では、タイル図が取り上げられているので、数を相対的に見る活動にはあまり即していない。
- ・第2学年以上では、「今日の深い学び」のページで、数学的活動をもとに、筋道立てて考え、表現する場面が設定されている。また、第4学年以上の各巻に1箇所ずつ「算数で読みとこう」が設定され、多様な情報を読解して判断する活動がある。第5学年以上の巻末には、「プログラミングを体験しよう」が設定され、正多角形の作図等が取り上げられている。
- ・買い物や乗り物の座席、生活習慣の見直し等の実生活に関わる問題が取り上げられている。また、単元の終末に「いかしてみよう」「つないでいこう算数の目」のページが設けられ、学習内容を活かして探求する活動が取り上げられている。他教科との関連箇所には、マークが示されている。
- ・日本各地の名所や世界遺産が問題に取り上げられたり、写真が掲載されたりしている。また、第5学年では、国土の利用の特徴や円周率を求めた外国の数学者が取り上げられている。第6学年では、オリンピック記録の数学的な分析が取り上げられたり、和算や世界の数の読み方などが紹介されたりしている。
- ・「単位量あたりの大きさ」や「割合」・「分数の計算」などの単元で、数直線図が太く2本になっているため、もとにする量の1が分かりやすい図となっている。
- ・巻末の「新しい算数プラス」では、基礎基本の問題から発展問題まで自主的に学習が進められるようになっている。また、デジタルコンテンツが利用できる箇所にはマークが示されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・第1学年では、A4版が用意されページがフラットに開き、数図ブロックが置きやすくなっている。
- ・巻末に「ふりかえり」のページがあるが、上巻で学習した内容が下巻に全て示されていないので、既習内容が確認できるようになっておらず、使いにくい。
- ・色覚特性に配慮されているが、過剰に色が使用され、注目する箇所が分かりにくい。
- ・文字の大きさがほぼ同じなので、大切な箇所が分かりにくい。

(3) 総合所見

- ・思考を促すさまざまな数学的活動が取り上げられており、数学的活動を通して身につけるべき考え方が分かりやすく示されているが、児童が活用しづらい図や表が掲載されている。
- ・写真が多いものの、過剰に色が使われており、中心箇所が分かりにくく、活用しづらいと考える。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
4・大日本		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		103	203	303	403	503	603

(1) 内容の特徴及び表現

- ・第2学年以上の巻末には前学年の内容のまとめが、さらに第5学年以上では前学年までの練習問題や関連する中学校数学の内容が掲載されており、つながりを意識しながら学習を進められる。
- ・第2第学年以上では、巻頭に学習の進め方やノートの書き方、話し方・聞き方などのポイントが紹介され、見通しをもって学習に取り組める工夫がなされている。
- ・全学年巻末にプログラミングのページが、第5学年以上ではソフトを活用した学習もある。
- ・算数に関連する仕事のインタビューや算数が社会で活用されている事例、他教科と関連した事例が紹介されており、算数の学習が仕事や日常生活、他の教科の学習内容等につながっていることを意識づける工夫がなされている。
- ・算数に関連した外国の文化や用語を取り上げたり、外国にルーツをもつ人々を掲載したりしている和算や日本の伝統的な模様を紹介するなど、海外や日本の文化に配慮している。
- ・第2学年の10以上の数の学習では、10や100のまとまりをタイル図で表現しているが、数のまとまりとして捉えにくく、100を超える数の具体的な操作活動が難しい。
- ・写真を多く使い、現実場面での様子を捉えられるように工夫してあるが、紙面に写真、図、文字など情報量が多いページが見られ、学習の中心を掴みにくい。
- ・1ページ分の紙面に空白が少なく、文字数が多い。学習の流れや大切な部分を捉えにくい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全学年が学年1冊にまとめられており、学習のめあて、問題解決学習の過程、学習ポイント、1単位時間の区切りの目安が表記されている。
- ・巻末に索引のページが設けられており、教科書に出てくる言葉等をすぐに調べることができる。
- ・単元の第1時の初発の発問から、考えやその理由を説明する構成になっている。考えをすぐに表現できない児童にとっては、学習への抵抗を感じやすい。

(3) 総合所見

- ・プログラミングや他学年の学習内容や他教科との関連を記載するなど、工夫が見られる。また、考える力の育成を重視していることもうかがえる。
- ・初発の発問で考えを問う展開になっており、考えをもちにくい児童にとっては学習の展開が難しいと考える。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		104	204	304	404	504	604
		105	205	305	405	505	605

(1) 内容の特徴及び表現

- ・全学年、単元の終末には復習問題に自己評価のチェック欄があり、自分で学びの定着を確認することができるようになっている。また、巻末にプログラミングのページが設けられている。
- ・第2学年以上では、ノートへの自分の考えの書き方や学習したことのまとめ方が示されている。
- ・第2学年以上では、巻頭ページで写真や身近なことを取り上げたいろいろなデータを提示したり、単元の冒頭で実生活の場面から問題を発見する様子を漫画によって表現したりして、学習への興味関心を喚起している。
- ・外国の言葉や建物、人口、計算のしかた、日本の自然や建物、伝統文化等が取り上げられ、海外や日本の文化に配慮している。また、他教科や環境問題、防災に関連する題材も取り上げている。
- ・単元末に基礎と発展の2段階の練習問題を取り上げたり、実際の生活場面を設定した生活に生かす問題や学習を総合的に扱ったページを設けたりするなど、様々な問題に触れる機会が多い。
- ・全学年、上巻の巻頭に前学年で見つけた考え方を振り返るページが設けられ、キャラクターや絵地図で児童の興味を喚起しているが、多色で文字の情報量も多く、内容を把握しづらい。
- ・第2学年の10以上の数の学習では、10や100のまとまりをタイル図で表現しているが、数のまとまりとして捉えにくく、100を超える数の具体的な操作活動が難しい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・学習内容を細かく分け、小タイトルで思考の流れが記載されている。
- ・巻末に索引のページが設けられており、教科書に出てくる言葉等をすぐに調べることができる。
- ・全学年、学習内容のまとめが次学年に掲載されていないため、既習事項を振り返りながら学習することができにくい。また、第5学年までは上下巻の分冊であるが、上巻のまとめが下巻にはないため、学年末の復習問題で既習事項を確認しながら学習を進めることが難しい。
- ・第1学年では基礎的な事項を振り返りながら学習することが多いため、1冊にまとめられている方が指導上望ましい。

(3) 総合所見

- ・学び方やプログラミング学習、他教科との関連、社会とのつながりについて記載するなどの、工夫が多く見られる。
- ・学年のつながりを意識して学習したり既習事項を振り返りながら学習を進めたりすることが難しいと考える。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		106	206 207	306 307	406 407	506	606

(1) 内容の特徴及び表現

- ・第1学年を除き、巻末に前学年までの既習事項が「学びのマップ」として掲載されており、児童の習熟度に応じて、問題解決に必要な知識・技能等を振り返ることができるようになっている。
- ・巻頭に、「算数で使いたい考え方」のコーナーが設けられており、前年で使った考え方をふり返るとともに、授業で使いたい言葉を学級で共有し、学び合いに生かせるようになっている。特に高学年では、中学校への接続を踏まえ、中学校数学で重要になる統合的、発展的な考え方を伸ばしていくことができるよう工夫されている。
- ・全学年において、読みやすい改行に配慮されており、支援を要する児童だけでなく、どの児童にとっても学びやすくなっている。
- ・単元導入の「きっかけ」のページでは、日常の場面などを取り上げ、児童が能動的にかかわることができるよう工夫されている。しかし、ここで投げかけられた問いは、単元の学習を進めてからでなくては答えが出せないものとなっているので、児童の興味関心を引くことだけでなく、その検証にもきちんと時間を割り当てられるよう配慮が必要である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「コンパスの使い方」「垂直、平行な直線のかき方」等の技能的な手順を連続写真で丁寧に示し、指導学年以外でも繰り返し参照できるようになっている。
- ・1ページ、若しくは見開き2ページで1単位時間となっていない内容があり、分かりにくくなっているところがある。
- ・巻末に「自分で取り組むページ」が設けられており、家庭学習などで利用できるようになっているが、本文と比べ文字が小さく、読みづらいものとなっている。
- ・10や100のまとまりをタイル図で表現しているが、数のまとまりとして捉えにくく、100を超える数の具体的な操作活動が難しい。

(3) 総合所見

- ・学年の系統性なども考慮し、中学校数学への接続も工夫されている。また、支援を要する児童へも配慮されたつくりとなっている。
- ・一単位時間の構成が分かりにくかったり、文字の大きさ、教具が使いにくいものとなっていたりするので、児童が主体的に学習を進めるのは難しいと考える。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
61・啓林館		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		108	208 209	308 309	408 409	508	608

(1) 内容の特徴及び表現

- ・ 単元末と学期末に復習ページが設定され、学習状況の確認がしやすくなっている。また、具体操作の様子を写真で紹介したり、思考の手がかりを吹き出しで掲載したりするなど、基礎・基本の定着に効果的な工夫がなされている。
- ・ ほぼ全ての単元の始めに「準備」のページがあり、レディネスチェックによる既習事項の習熟状況を確認することができるようになっている。
- ・ 思考を助ける図・表・式が数多く掲載されている。さらに、そのかき方についても記述されている単元が多く、考えの根拠を示しながら表現していく活動に効果的な記載が充実している。
- ・ 理科や社会科との関連のある問題や、環境や防災に関する問題が取り扱われ、他教科や総合的な学習の時間との関連を意識しやすい機会が設けられている。
- ・ めあてとまとめが例示されているため、岡山型学習指導のスタンダードに沿った学習を展開するのに効果的である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 2年生以上の教科書上巻に、教科書の使い方、学習の進め方が掲載されており、問題解決学習の流れやノートの書き方を確認することができるように工夫されている。また、1年生の上巻には就学前の体験活動と算数のつながり、6年生の最後には数学の簡単な紹介や、様々な職業と算数との関わりが掲載されている。このことは、中学校区一貫教育校やキャリア教育を推進する玉野市の児童にとって大変効果的な構成・配列となっている。
- ・ QRコードによる、動画コンテンツが充実し、授業中や家庭で動画による解説を簡単に見ることができるようになっている。これにより、個々に応じた手立てがしやすくなり、習熟度別指導や家庭学習での活用がしやすいつくりになっている。

(3) 総合所見

- ・ 算数科の指導内容が分かりやすく、児童の思考を促すような工夫が適切にされており、内容面はもちろん、文字の大きさや色使いもユニバーサルデザインに対応している。
- ・ 岡山県や玉野市の目指す教育と、教科書の構成・配列に共通点が多く、効果的に使用できると考えられる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 算数	種目 算数						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		110 111	210 211	310 311	410 411	510 511	610

(1) 内容の特徴及び表現

- ・第2学年以上で、単元末の練習問題「たしかめポイント」が設けられており、基礎・基本を定着させるための工夫がなされている。また、巻末に、前学年までに学習した内容をまとめているページがあり、既習事項を扱いやすい。
- ・全学年で考えの説明の具体例が、吹き出しで詳しく記述されている。また、「自分で みんなで」というページでは、板書形式で学び合いの仕方のポイントが示されている。巻末に「算数で使いたいことば・考え方」をまとめた付録があり、自分の考えを分かりやすく表現するための工夫がなされている。
- ・3けたまでの数を表す具体物として、ブロックと①⑩が使われているが、十進法位取りの仕組みが視覚的に理解しにくいいため、筆算での繰り上がり・繰り下がりが分かりにくい。
- ・「単位量あたりの大きさ」や「割合」・「分数の計算」などの単元で、数直線図が太く2本になっているため、もとにする量の1が分かりやすい図となっている。
- ・「ハロー！算数」や「Hello!Math」では、学習した内容を使った実生活の問題を扱った教材が取り上げられている。
- ・巻末の「算数マイトライ」は、「チェック」「チャレンジ」「ジャンプ」の3段階に練習問題が分けられており、児童の実態に合わせて、補充、発展、活用できるように構成されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・単元の導入で既習事項を振り返るページ「次の学習のために」と、終末に確認のページ「たしかめポイント」が設けられている。低学年では同じ内容の学習が長く続かないよう、高学年では関連する内容がまとめて配列されている。
- ・ページの様々な箇所に問題があり、全体として、1単位時間の学習範囲が分かりにくく、工夫が必要であるといえる。

(3) 総合所見

- ・保幼小中の学校間連携や前学年の既習事項を考慮した内容や構成になっている。児童が学び合いをしやすいように工夫された記述やコーナーも設けられている。
- ・ページの構成上、一単位時間のめあてとまとめがつかみにくく、児童が主体的に学習に取り組むことが難しいと考える。

教科 理科

種目 理科

令和2使用小学校教科用図書研究報告書

教科 理科	種目 理科						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				301	401	501	601

(1) 内容の特徴及び表現

- ・「レッツスタート！」のページや単元の最初の会話形式のページで、学習の流れや考え方のもとになるヒントが示されていて、これから学ぶ課題を明確にしている。
- ・資料の写真が多く、児童の興味関心がわくものになっている。また、QRコードでインターネット資料が使えるようになっており、より詳しく学ぶことができる工夫がなされている。
- ・「学んだことを使おう」のコーナーで、既習の事柄や他教科との関わり、日常生活の中で活用できる知識のヒントが示されている。また、「算数で学んだことを使おう」が設けられていて、グラフの書き方や比例の考え方など、教科横断的に基本的な学習事項を再確認できるように工夫されている。
- ・「ふり返ろう」で学んだことを自分の言葉で表現させたり、「学びを生かして深めよう」で発展的な課題の提示がなされたりしていて、主体的に学ぶきっかけになっている。
- ・理科の学習内容に関連づけながらプログラミングを体験する活動が設定されていて、プログラミングを取り入れることで論理的思考力を養うことができると考えられる。
- ・学習内容にかかわる職業についての人のインタビュー記事等が載せてあり、キャリア教育につながると考えられる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・鮮明な写真やイラストが効果的に掲載されていて、授業のユニバーサルデザイン化を進めるうえで有効であると思われる。
- ・単元末の「学びをつなごう」で、各学年で学んだ縦のつながりの関係が分かるようになっていて、学習が繋がり発展していることがよく分かるようになっている。
- ・新しく3年生に入る音の単元は、音が伝わる時は、伝えるものがふるえているということを示す写真等の視覚的資料があればより分かりやすい。
- ・全体的に分量は適切で、バランスよく配分されている。

(3) 総合所見

- ・児童の思考の流れを大切にしたり内容や問題提示のしかたで整理されているとともに、教科横断的な学習が進められるよう配慮もあるため、それぞれの知識を総合的につないでいくような、学習指導要領が求める学習活動が進められる。
- ・問題とまとめは文字を大きく太くしてあり、また、新しく学習する用語にはアンダーラインが引いてあり、ルビをうつなどして強調してあるので、とても見やすい構成になっている。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 理科	種目 理科						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
4・大日本		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				302	402	502	602

(1) 内容の特徴及び表現

- ・巻末に実験や観察で用いる道具の使い方がまとめられており、使い方を振り返りやすい。また当該学年で学んだことのまとめもあり、大切な語句については、穴埋め問題で児童が確認ができるようになっているので基礎基本の定着につながる。
- ・単元末には、学んだことを生かして、説明問題に取り組める「学んだことを生かそう」が設けられており、思考力、判断力、表現力を育てられるようになっている。
- ・5・6年生では実験や観察の後には、必ず「深めよう」の内容か「サイエンスワールド（中学校で学ぶこと）」の内容が書かれており、発展的な学習につながるように工夫がされている。
- ・「りかのたまてばこ」には、環境保全についての内容や、防災や減災教育につながる内容、キャリア教育、近年の科学技術との関連、伝統文化など理科とかわりのある内容について基礎的な理解ができるようになっている。また3～5年生ではプログラミング的思考を使う学習、6年生では、簡単なプログラミングを用いた学習についても掲載されている。
- ・学習指導要領で3学年に新設された「音のふしぎ」の単元では、ものの震える様子を3種類の実験で比較し確認できるようにしているので、理解しやすい。
- ・4年生の「ものの温度と体積」や6年生の「植物の成長と日光の関わり」で用いられている実験方法では、結果がわかりにくいものがある。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ユニバーサルデザインの視点で作られており、6年生でも1ページの文字数があまり多くなく、読みやすい。また、問題や結論の部分には背景に色がついていて一目でわかる工夫がされており、教科書全体として見やすい。
- ・6年生の「植物の成長について」の内容がひとまとまりではなく、「日光」の内容と「水」の内容に分かれ、間に「体のつくりとはたらき」の単元が入っているため、扱いにくい。
- ・学習する内容の系統性が一目でみられるページがないので、学習の系統性が見えにくい。

(3) 総合所見

- ・「問題」「予想」「計画」「実験（観察）」「結果」「考察」「結論」が分かりやすく示されており、見やすく、その他の発展的な内容についても十分扱われている。
- ・単元の並び方や、構成、取り扱っている実験について、児童の思考が途切れるような構成になっている部分や、結果がわかりにくい実験を採用している部分があり、指導の際には配慮が必要である。

令和2使用小学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				303	403	503	603

(1) 内容の特徴及び表現

- ・ 単元内に「大事な言葉」のコーナーが設けられており、基礎的基本的な学習内容の定着を図ることができるようになっている。
- ・ 各単元の始めには、学習内容と生活場面を結び付けた写真が見開きページで紹介されている。話し合いの場面では、イラスト化された児童らが吹き出し入りで意見を交わしている様子が描写されており、言語活動が円滑に行えるようになっている。
- ・ 各単元の終わりにある「まとめてみよう」の練習問題では、発展的な記述問題は多いが、基礎的内容の確認をする問いが少ない。
- ・ 探求的な理科の学び方が身に付くように、学習段階ごとにレ点で確認できるようになっているが、確認事項が多く、活動が制限され、スムーズな学習の妨げになる可能性がある。
- ・ 内容に関連する「資料」では、自然を愛し、守っていこうという心情が育つような構成となっている。自国のことを取り上げているものが多く、他国を取り扱っているものが少ない。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 全体の分量が適切であり、学習内容がバランスよく各単元に配分されている。
- ・ 重要な用語については、「大事な言葉」のコーナーで注視できるようになっている。また、巻末に検索のページが設けられており、使いやすいものになっている。
- ・ 日常や身近にあるものを扱った「作ってみよう」や発展的な学習につながる「調べてみよう」を設けることで、児童の学習意欲を喚起する工夫がされている。

(3) 総合所見

- ・ 全体的に写真やイラストが工夫されている。実験の仕方や実験結果等、写真入りでまとめられていて非常に分かりやすいものになっているなど、視覚支援を効果的に用いており、授業のユニバーサルデザイン化を進める玉野市にとって、有意義なものであると思われる。
- ・ 基礎基本の確実な定着を図るためには、練習問題の量が少ない。また、国際社会の中の日本という観点から考えると記述が少ないように感じる。

令和2 使用小学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				304	404	504	604

(1) 内容の特徴及び表現

- ・ノートの取り方の具体例が分かりやすく提示されており、単元の終わりには用語を書き込みながら振り返ることができる「たしかめ」のページがあり、基礎基本の定着を図ることができる。
- ・単元ごとに、問題解決の過程を登場人物が友達と関わりながら進めていくので児童が課題をつかみやすくなっているが、プログラミングについての説明が2ページに集約されているため内容がつかみにくく感じられる。
- ・画像やイラストの中に、外国の子どもが使用されていたり車いすの子どもが使用されていたり、モーターを使った道具では車イスなども紹介されたりするなど人権を配慮したつくりが見られ、児童が共生社会に向けて目を向けることができる。
- ・巻頭・巻末、関連ページに気象予報士、科学者、ノーベル賞受賞者のキャリア形成能力につながるコメントも掲載されており、玉野市が取り組んでいるキャリア教育との接点が見られる。
- ・調べ活動で使う図鑑の紹介では出版社名は記載されていないが、1社の商標名が大きく掲載されており配慮が必要である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「学習のつながり」が各単元の最初に示され既習学年や中学校の単元とのつながりについて示されている。
- ・植物の発芽の様子や、昆虫の生態について鮮明な画像を使用してコンパクトに掲載されているが、やや見にくい構成もみられる。巻末には身近に見られる生き物についてミニ図鑑が掲載されており、野外の観察活動で身近な生き物の特定ができたやすくなっている。
- ・観察や実験の際の安全面への配慮事項を示したり「科学のまど」などの読み物などのコーナーをつくったりして理科に関する興味・関心を高めていくことができる。

(3) 総合所見

- ・分量的には適切であり、ランドセル等にも入れやすいサイズである。コンパクトで鮮明な写真が使用されており、児童が変化の様子に気付きやすくなっている。また人権を配慮したイラストや写真を取り入れ、共生社会を意識したつくりも見受けられる。
- ・単元によっては、もう少し大きな画像を使用したほうがよかったり、資料の紹介に偏りがあつたりするので活用に工夫や配慮が必要である。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	理科	種目	理科				
発行者		番号・略称		教科用図書番号			
61・啓林館		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				306	406	506	606

(1) 内容の特徴及び表現

- ・学習指導要領の改訂をふまえ、6年生「発電と電気の利用」ではプログラミングについて学べるような記述がなされている。巻末にはプログラミング用シートとシールが用意され、プログラミング的思考について学べるようになっている。
- ・算数で学んだ内容との関連が巻末で重点的にまとめられており、教科横断的な扱いができるように工夫がされている。
- ・3年生では図版の見やすさに重点を置いてあるために、一部文章による表現が少ないページがあり、読み取りをした上で、言語によって考えを深める学習となりにくい箇所がある。
- ・単元の始めに必ず「思い出してみよう」や「考えてみよう」など、既習事項や生活体験から課題意識をもたせることができるよう配慮されている。
- ・各単元末には「つなげよう」として関連した科学読み物が載せてある。内容が充実しており、児童の学習意欲の向上やさらなる発展的な学習の扱いができるように工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・巻末に「調べる」「表す」など、学習の仕方を支援する内容が載せてある。インデックス風にまとめられており、児童の書字で載せてあるなど参照しやすい工夫がなされている。
- ・3年生では単元名が『学習活動を表すもの』であったり、『めあてに類するような表現』であったりと、表記のばらつきが見られる。
- ・一単元にまとめるより、分けた方がよい単元がある。
- ・視覚的な補足資料が充実しており、必要に応じてQRコードで簡単に呼び出せる点も便利である。

(3) 総合所見

- ・理科だけでなく、算数との関連を重点的に取り上げたり、社会や科学との関連を取り上げたりと、教科横断的な扱いや学習の幅を広げるような工夫が随所に見られる。
- ・どの学年でも関連のある内容が大きくくりで一つの単元としてまとめられており、一連の学習として児童に意識させ続けて学習を進めていくことができる面は良いが、一単元にまとめるよりも分けた方が学ぶポイントをはっきりできるものもあるため、使用する際には、単元構成について組み直した方がよいと思われる箇所がいくつかある。

教科 生活

種目 生活

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 生活	種目 生活						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		101	102				

(1) 内容の特徴及び表現

- ・栽培単位では生長の変化を比較できるように、変形版ページが設けられ、生長過程を近接するページに写真等でまとめることにより、生長の変化が一目で分かるような視覚的工夫がされている。
- ・言語活動を充実させるために、単元ごとに、五感を使って生活科カードを書く方法が紹介されていたり、学んだことを発表したりする活動が随所に設定されている。
- ・活動に即して指導できるように、ページの右隅に「やくそく」として見学や観察、片付け等のルールがイラストで示されている。
- ・上巻巻頭に幼児期の学びから接続するページ、下巻巻末に中学年以降の学習へ接続するページが設けられている。
- ・上巻巻末の付録「ポケットずかん」は切り離して携行できるようになっており、実生活で観察できる内容が示されている。実物大で掲載されていることも児童にとって、とても分かりやすい。
- ・学習の流れを示したホワイトボードを挿絵に描き、落ち着いて学習に取り組める工夫を例示するなど、授業のユニバーサルデザインへのヒントを掲載している。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・季節の流れを軸に、内容のまとまりごとに単元が配列され、上巻では学校全体、通学路へ、下巻では地域へと活動範囲が広がっていくように学習活動が構成されている。
- ・サイズはA4版で、縦に長くなったスペースに、学びのプロセスや児童の作品例、家庭での会話等が図示されている。
- ・各単元の冒頭には、巻末付録「かつどうべんりてちょう」の関連ページが掲載されており、関連づけて指導しやすい。

(3) 総合所見

- ・玉野市が推奨しているユニバーサルデザインやキャリア教育の視点からも、とても適した内容になっている。
- ・実物大の植物の紹介があったり、生長の様子が見やすく紹介されていたりと随所に工夫が見られ、児童にとってわかりやすい内容になっている。
- ・上巻巻末の付録「ポケットずかん」には、植物や昆虫の紹介がされており、児童の見つけてみたい・調べてみたいという意欲を高めるものとなっている。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	生活	種目	生活						
発行者番号・略称				教科用図書番号					
4・大日本				1年	2年	3年	4年	5年	6年
				103	104				

(1) 内容の特徴及び表現

- ・表紙にはマット加工や凹凸を施し、「みる」「さわる」といった諸感覚を活用し、子供が体全体を使って対象と関わることを促すような紙面となっている。
- ・活動に関連して、表現が広がるような情報を掲載している。
- ・「きらきらことば」「せいかつことば」において様々な言葉を紹介し、児童の言語能力がはぐくまれるように配慮されている。
- ・巻末では、調理の方法やエチケットなどについても取り上げ、低学年なりに、生活習慣や技能が身につくように配慮されている。
- ・資料の内容は多方面にわたり充実しているが、写真やイラストが小さくわかりにくい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・季節に沿った大単元構成で、子どもの意識に沿った無理のない活動を進めていくことができるようになっている。
- ・巻末の資料「がくしゅうどうぐばこ」に資料が掲載されており、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得がはかれるように配慮されている。
- ・サイズの違うページや透明シートを使用した仕掛けのあるページを設けるなど、絵本のよさを取り入れた構成になっているが、暗い写真が多く、仕掛けなどが凝りすぎていて、効果的に活用するのが難しい。

(3) 総合所見

- ・具体的な活動や体験を通して、学校や地域家庭でできる生活習慣、生活技能等が身に付けられるように配慮されている。
- ・単元の導入は見開きのダイナミックな写真で構成され、児童の興味・関心を引き出し、主体的な活動が始まるよう工夫されている。
- ・使用する写真の大きさや色、仕掛け等の表現方法を工夫する必要があると思われる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 生活	種目 生活						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		105	106				

(1) 内容の特徴及び表現

- ・「まなびかたずかん」で、学ぶ力をつけるための学習の仕方がまとめて示されている。
- ・発達段階に応じた形式・内容の生活科カードが掲載されていたり、栽培・飼育単位では成長過程を振り返り、本に仕立てたり、新聞を作ったりするまとめ方が示されていたりするなど、多様な表現方法が紹介されている。
- ・上巻では巻頭のスタートカリキュラムから最初の単位につながりをもたせているとともに、巻末付録に、幼児期の教育とも関連が深い「あそぶ」の項目が取り入れられている。
- ・上下巻の巻末や下巻の巻頭に、自分の思いや願いを記すページが設けられている。登場人物の会話によって児童の思考が促されるよう単元の目標は児童の言葉を基にしたリード文が示されている。学びを支援し広げる、複数の図鑑ページが掲載されている。
- ・単元の中での本時の位置づけが「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」など、子どもに分かりやすい言葉で表現されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・上巻から下巻へと、活動や体験の場が広がり、内容的にも深まるよう学習内容が配列され、最終ページでは保護者へ各単元のねらいが紹介されている。
- ・A4版より縦が2cm短い紙面で扱いやすくなっている。
- ・目次のページでは1年間の見通しをもつことができるよう、単元を行う時期が示されている。

(3) 総合所見

- ・玉野市が推奨しているスタートカリキュラムの視点からも適した内容になっている。
- ・児童にとって興味を引くような工夫がなされ、意欲的に学習に取り組むことができる内容になっている。
- ・季節ごとの植物の紹介は分かりやすく掲載されているが、生長の様子がレイアウト的に少し見にくいいため、授業時に活用の工夫が必要であると思われる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	生活	種目	生活						
発行者番号・略称				教科用図書番号					
17・教出				1年	2年	3年	4年	5年	6年
				107	108				

(1) 内容の特徴及び表現

- ・ 単元の中で「社会科のまど」「理科のまど」として、社会科、理科との関連が示されている。
- ・ 上巻巻頭には、絵本仕立てのページを含むスタートカリキュラム、下巻巻末には、中学年へ接続するページが位置づけられている。
- ・ 巻末付録では、各教科との関連や関係する本が紹介されている。
- ・ 下巻の町探検の単元では、仕事体験を通して、地域の人の気持ちを考える活動が設定されており、キャリア教育を意識した構成となっている。
- ・ 飼育や栽培の方法を詳しく説明したり、四季の自然や昆虫等の様子を図示したりしている図鑑ページが随所に取り入れられているが、量も少なく、まとまっていないため使いにくい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 随所にQRコードが設けられ、学習に役立つ情報をウェブサイトで調べることができる。
- ・ 生活科の教科目標が巻頭で保護者に示され、各単元で特に発揮することを狙いとされている力をサイコロ型で示されている。
- ・ 気づきの質を高めるためのキャラクターの言葉かけが、適宜掲載されているが、そのキャラクターが児童の興味関心を引くか疑問である。
- ・ 1ページの中の情報が多く、注目させたい写真を見やすくする構成が必要である。

(3) 総合所見

- ・ 自己評価ができる「まんぞくはしご」や学びの軌跡を残す「書き込み欄」など、教科書を活用した振り返りができ、振り返り方の定着を図ることができる。
- ・ 全巻を通して、下学年や上学年と接続をスムーズに行うための配慮がされている。
- ・ 資料の量を増やしたり、使用する写真を見やすくしたり、掲載場所を工夫したりする必要があると思われる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	生活	種目	生活				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
38・光村		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		111	112				

(1) 内容の特徴及び表現

- ・上巻の栽培単元で、生長の記録等の生活科カードの書き方が各場面で示されている。
- ・全単元に「どうすれば」のコーナーが設けられており、実生活と関連付けて児童自身が考える場面が設定されている。
- ・イラストや吹き出し、マーク等は、色彩豊かに大きく示されているが、字体が手書き風で少し幼稚に思われる。
- ・種や球根、野菜の大きさなどが実物大と1cmきざみのめもりで示されているが、生長の過程は比べにくい。
- ・図版の見やすさに重点を置きすぎていて、写真が少なく、必要と考えられる資料が入っていない。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「ホップ」(導入)・「ステップ」(展開)・「ジャンプ」(振り返り)の3段階で各単元が構成されている。
- ・各単元は季節を追って配列されているが、指導の順序を入れ替えることができるよう、活動のまとまりごとに単元が構成されている。
- ・児童の活動は吹き出しで示唆されているが、対象に焦点を当てた写真が多く、各単元の導入部分で、学習全体の見通しがもちにくい。

(3) 総合所見

- ・各単元の指導の順序を入れ替えることができるよう工夫されている。
- ・巻末には、振り返りを記入するシールが付されているが、低学年の児童が全員所定の場所に書き込みシールを貼るとするのは、使いにくい。
- ・親しみやすさを念頭に置いているためか、全体的に絵本のような印象を受ける。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 生活	種目 生活						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
61・啓林館		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		113	114				

(1) 内容の特徴及び表現

- ・自分の思いや願いを生かして活動できるように、導入時に「わくわくボックス」のページが位置付けられている。また、思いや願いがつながるようにめくり言葉がページの右下に位置付けられており、連続性が大切にされている。
- ・低学年におけるキャリア教育を進める上での大切な観点である、興味・関心を高め、集団生活の楽しさを感じる工夫がある。
- ・単元の導入での「わくわくボックス」、気づいたことを基に考えるための写真・表現物・イラスト・吹き出し等の多様な学習活動の例の提示、児童の発達段階を考慮した系統的な言語活動の設定等、主体的・対話的で深い学びができるように工夫されている。
- ・紙面にQRコードが掲載され、学習と関連した情報をタブレット端末などで閲覧できるようになっており児童の学習意欲を高めることができる。
- ・上巻「たねをまこう」の単元では、各植物の種から花までがページ順に示されているが、種→双葉→花が一目で見ることができるよう視覚的な工夫が必要である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階構成になっており、活動の流れを明確化し、多様な児童に分かりやすい構成となっている。
- ・上巻「すたあとぶっく」や下巻「ステップブック」のページが設けられており、幼児教育や中学年以降への学習へのつながりを意識した構成となっている。
- ・巻末付録に「かくしゅうずかん」のページが設けられており、生活科カードの書き方や話し合いの進め方等、学習の仕方についてまとめて示されている。

(3) 総合所見

- ・学びのプロセスがわかるような3段階構成になっており、児童にとって学びやすく、教師にとって教えやすい構成となっている。
- ・単元の導入での「わくわくボックス」、多様な学習活動の例の提示、系統的な言語活動の設定など、主体的・対話的で深い学びができるように工夫されている。
- ・植物の観察では、生長が連続で分かる紙面の構成や持ち運びできる図鑑等、視覚的・利便的な工夫が必要である。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 生活	種目 生活						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		115	116				

(1) 内容の特徴及び表現

- ・三つの柱に基づいた「学習のめあて」をマークをつけてページの左下に明示しており、授業で大切にすべきことが分かるように工夫されている。
- ・単元の振り返りの場面では、学びが深まるような板書や単元内容に応じた具体的で多様な表現方法の例示がされており、学習の定着を図り、次の課題が見つかるよう工夫されている。
- ・「ポケット図鑑」では、植物や生き物等の正確な縮尺写真が掲載されており、イメージさせやすく、また、見開きページになって見やすい。
- ・教室背面のイラストには、年間を通じた成果物の提示が紹介されている。
- ・栽培の単元では、種・葉・花がひと目で見ることができるよう構成されているが、ページを折る作業が児童には難しく、改善が必要である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・児童の思いや願いがにつながるように「ふりかえるつなげる」コーナーがページの右下へ位置付けられている。
- ・巻末図鑑「ちえとわざのたからばこ」で考えるための技法や日常の習慣、安全や習慣に関する知識などが設置されており、いつでも開いて活用できるように構成されている。
- ・巻頭では児童向けに教科書の使い方が説明されている。

(3) 総合所見

- ・三つの柱に基づいた「学習のめあて」を明示されており、授業を進める上で児童に「何をどう学ぶのか」を伝えやすい。
- ・多様な表現方法の例示がされている。
- ・全体的には使いやすく工夫されているが、植物の生長の単元については紙面の工夫が必要である。

教科 音楽

種目 音楽

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 音楽	種目 音楽						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		101	201	301	401	501	601

(1) 内容の特徴及び表現

- ・題材名の横に、学習の見通しをもつための表記がある。また、その題材で扱う楽曲の、音楽を形作っている要素が「音楽のもと」として見開きごとに示され、何を学習しているのか分かる工夫がされている。その下に、児童が気付いたことを書き込めるページもある。
- ・全校で演奏できるように、全学年共通の楽曲が、発達段階を考慮した編曲で掲載されている。
- ・「にっぽんのうた」では、情景の写真を織り込みのページに掲載し、楽曲に描かれた情景を想像しやすい工夫がされている。
- ・「スキルアップ」というページがあり、歌声とリズムのトレーニングができるように、学年に応じた内容と楽曲が記載されている。
- ・巻末に、学年ごとの「音楽のもと」のまとめや、音楽を表す言葉のまとめ、その学年で学習する休符や記号・リコーダーの指使いなどの表があり、振り返りながら学習を進めることができる。
- ・新出の符号・音符・リコーダーの指使い等が、ページ右側の色分けされた部分に記載されていて分かりやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・題材ごとのめあての重要な言葉は、色分けをして注目しやすくなっているなど、特別支援教育の視点が取り入れられている。
- ・「まなびリンク」が用意されている教材は、目次のQRコードから、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。
- ・本教科書を使用する場合、既習教材が複数の学年に存在することになるため、学習目標の設定に配慮が必要である。
- ・第6学年の鑑賞教材が、現在玉野市の中学第2学年で学習するものと重なっており、小中学校で採択する教科書が異なった場合、卒業後の子ども達の鑑賞曲が少なくなることも懸念されるため、工夫が必要である。

(3) 総合所見

- ・1・2学年では軽量化が実現されている。また、全学年においてワークシートのページが設定されており、児童の知識が定着するよう工夫されている。
- ・本教科書を使用する場合には、中学校での学習内容との関係から、学習目標の設定等の工夫を検討する必要がある。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 音楽	種目 音楽						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
27・教芸		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		102	202	302	402	502	602

(1) 内容の特徴及び表現

- ・各学年の一年間の学習について「歌う」「きく」「演奏する」「つくる」の項目に分けて内容を記載し、児童が見通しをもって学習に取り組める工夫がされている。
- ・学習のヒントを出したり考えるきっかけを示したりするキャラクターが、現行の1種類から3種類に追加され、各教材曲の要点をわかりやすく支援し、児童の興味を引くものになっている。
- ・題材ごとに、めあてや学習内容についての記載があり、ページ下部にはその楽曲で意識することの記載がある。
- ・鑑賞曲では、旋律や音の高低をイラストや線で表記してあり、その部分を指でなぞったりイラストに合わせて手を動かしたりすることを通して、曲想を感じ取ることができる工夫がされている。
- ・「新しくおぼえること」というコーナーがあったり、巻末に一年間で学習した内容の振り返りのページがあったりするなど、学習の定着を図ることができる。
- ・発達段階に応じて、子どもたちの興味関心を高め、表現を深めることに適した多くの教材曲が取り入れられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・教科書のサイズやページ数等、軽量化への配慮がされている。
- ・ユニバーサルデザインの観点から、全ての児童にとって見えやすい色彩や文字の大きさ、文章量等配慮がされている。楽譜の大きさについても、見えやすい大きさに編集されており、学習のしやすさへの配慮がされている。
- ・中学校区一貫教育を見通して、他学年の教材曲との重複がないため、学習曲が少なくなる心配もなく、多くの学びが保障される。
- ・教材曲のQRコードから、教芸のウェブサイトの情報へアクセスできるよう編集され、教材の理解を深める工夫がされている。QRコードの上には、具体的に得られる情報についての記載がある。

(3) 総合所見

- ・学習のヒントや考えるきっかけが多く示されていることで、楽しみながら音楽の学びと向き合うことができる。
- ・玉野市が力を入れているユニバーサルデザインや中学校区一貫教育の観点から、子ども達の資質・能力を育むことに適した教科書であると考えられる。

教科 図画工作

種目 図画工作

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 図画工作	種目 図画工作					
発行者番号・略称		教科用図書番号				
9・開隆堂	1・2年 上	1・2年 下	3・4年 上	3・4年 下	5・6年 上	5・6年 下
	101	102	301	302	501	502

(1) 内容の特徴及び表現

- ・各題材に「学習のめあて」が3観点ずつと、振り返りの視点が、児童に分かりやすい言葉で示されている。
- ・めあての重点についてのアドバイスが、キャラクターの吹き出しで掲載されている。
- ・巻末の「造形の引き出し」では、各学年に応じた用具や材料の使い方について、6年間で系統立てて紹介されている。また、「学びの資料」として、鑑賞の仕方や展示の仕方について示されている。
- ・鑑賞のページが4ページずつあり、鑑賞のポイントや対話的な学習等の仕方が示されている。
- ・ページ下の「あわせて学ぼう」に関連する他教科が多く紹介されている。
- ・3・4年上巻から、関連する英単語が紹介され、QRコードで音声聞くことができるが、内容が発達段階に合っていなかったり、活用場面が想定しにくかったりする。
- ・「みんなのギャラリー」では、各地の美術館での取り組みを紹介したり、地域に密着した行事や伝統工芸などと組み合わせて発展した文化を取り上げ、自分たちの地域にあるものの良さに目を向けるようにしている。
- ・QRコードから手順を動画で見ることのできる題材があり、家庭での活用が可能である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ページ上部に学習で使用する材料や用具について、分かりやすいイラストで示されている。
- ・題材によっては、1ページのみ扱いとなっており、記載できる作品や活動の写真の数が少なくなっている。
- ・安全面で気を付けることと片付けのポイントに関する記載が、もう少し詳細である方がよい面も見られる。
- ・5・6年にコンピュータを使用した内容が扱われ、プログラミング教育に配慮されている。

(3) 総合所見

- ・各題材には3つの観点で学習のめあてと振り返りが児童に分かりやすい言葉で明記されている。
- ・他教科との関連の明示や、QRコードの導入など、工夫が随所に見られる。
- ・共同して行う活動や、鑑賞を通しての対話的な活動を多く取り上げているので、言語活動の場が必然的に増え、対話的な学びができるよう工夫されている。
- ・題材によっては、作品や活動の写真が少なかったり、安全面で気を付けることや片付けのポイントに関する記載が少なかったりするため、指導の際にやや配慮が必要である。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 図画工作	種目 図画工作						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日文		1・2年 上	1・2年 下	3・4年 上	3・4年 下	5・6年 上	5・6年 下
		103	104	303	304	503	504

(1) 内容の特徴及び表現

- ・各題材に「学習のめあて」が3観点ずつと、振り返りの視点が示されている。
- ・巻末の「使ってみよう材料と用具」では、各学年に応じた用具や材料の使い方が紹介されている。また、使用後の用具の片付け方も児童に分かりやすく示されている。
- ・作品について対話している情景写真や吹き出し、発表の様子などを多数掲載している。
- ・道徳科との関連が「ふくろう」のキャラクターで示されている。
- ・1・2年下巻「ことばのかたち」、3・4年下巻「言葉から形・色」、5・6年下巻「言葉から思いを広げて」など、国語科の学習内容との関連が図られている。
- ・鑑賞のページでは、有名画家の作品だけでなく、様々な活動や作品が掲載されたり、作品使った遊び方の提案が示されたりしている。
- ・1・2年下巻からの「図画工作のつながりひろがり」では、地域の伝統工芸や外国の文化が扱われている。また、地域の人々やアーティストの活動も紹介されている。
各巻で「外国の友達の絵」が紹介されている。
- ・巻頭の「教科書美術館」では、見開き3ページで様々なジャンルやテーマで、作品や写真が大きく掲載され、発達段階に応じた興味・関心や創意工夫しようという意欲を高める工夫がされている。
- ・「ひらめきポケット」では、身の周りのものを扱った手や体を動かす活動が示され、発想のヒントが系統的に取り上げられている。創作活動が苦手な児童にも取り組みやすい活動が示されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ページの下部に使用する材料や用具が図示され、関係の巻末ページも示されている。「きをつけよう」「かたづけ」では、安全や片付けについてイラストと文で分かりやすく示されている。また、巻末にも材料と用具のページが設けられている。
- ・各題材が見開き2ページで取り扱われており、児童の作品や活動の様子が多く記載されている。
- ・1・2年上巻では巻頭で入学前、5・6年下巻では小学校6年間と中学校のことに触れ、入学前や卒業後の接続に配慮されている。

(3) 総合所見

- ・各題材には3つの観点で学習のめあてが明記されている。また、各ページを開いたときに、活動のヒントが多く記載されていて、一時間ずつの活動が分かりやすく、児童が見通しをもって主体的に取り組むやすい構成となっている。
- ・アーティストの活動が紹介されており、玉野市の推進するキャリア教育にもふさわしい内容となっている。
- ・入学前や卒業後の内容が扱われ、玉野市の進める中学校区一貫教育の視点からも扱いやすい。

教科 家庭

種目 家庭

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 家庭	種目 家庭						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						501	501

(1) 内容の特徴及び表現

- ・教科書がA4判なので、紙面が広く調理実習の流れが時系列に並んでいて、項目も細分化されており分かりやすい。また、全体的に写真や絵を多く用いているので、視覚的にも分かりやすく情報量も多い。
- ・目次が開きのページになっていて、レイアウトが横並びになっているので学習の流れがよく分かる。また、成長の記録として1年間の振り返りを行うことができるようになっていたり、他教科との関連が具体的に書かれたりしている。
- ・どの単元も3つのステップで進むように流れが示されていて、また、各ステップごとにめあてと振り返りが示されているので、問題解決的に学習を進めることができるようになっている。
- ・調理実習や制作実習の技能では、実寸大の写真があったり、左ききの場合のやり方が示されたりしているのでイメージを持ちやすい。
- ・「プロに聞く」でいろいろなプロのインタビューを載せているので、本市が重点的に取り組んでいるキャリア教育に適している。
- ・学びを生活に生かす活動では、具体的に手順が示され丁寧に説明されているので実践しやすいものになっている。
- ・日本の伝統文化について各単元ごとに生産者や外国の人などの言葉を記載している。
- ・家庭科に関係のある英単語をページの右下にイラスト入りで掲載してあり、日本語訳は次のページに表示し、興味を引くよう工夫されている。
- ・安全教育については、それぞれの題材に取り入れられている上、最後のページにもまとめて紹介されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・それぞれの単元の必要なところに必要な情報が載せられているので、使いやすいものになっている。
- ・見やすいユニバーサルデザインフォントが使用されていて、読み間違いにくい。
- ・児童にとってわかりにくい用語については、欄外に簡潔な解説が設けられている。

(3) 総合所見

- ・全体の分量が適切で、学習内容もバランスよく各単元に配分されている。
- ・基礎基本の定着を図るための工夫や言語活動が充実しており、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促される創意工夫がなされている。
- ・授業のUD化を進める玉野市では、すべての児童にとって分かりやすい教科書であり、効果的な学習が行える。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 家庭	種目 家庭						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
9・開隆堂		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						502	502

(1) 内容の特徴及び表現

- ・調理や製作などの実習手順は、児童の視線に沿うように、見開きページで横に流れるように示されている。特に技能面の写真は、細部の理解を図ることができるように拡大写真やイラストが示されており、分かりやすいが、全体的に見ると、写真の数が少ない。
- ・学習指導要領の改訂をふまえ、「話し合おう」や「考えよう」の中で、具体的な活動が示されており、知識技能を活用して考え、判断できるようになっている。また、「ふり返ろう」や「生活に生かそう」等があり、記述例も示され、児童が自身の学びを言葉で表現したり、まとめたりできるように工夫されている。
- ・「安全に実習しよう」のページでは、自分で危ない場面を探すようになっており、児童が自分でしっかり気を付けながら学習に取り組めるよう工夫されている。
- ・他教科との関連が「関連」マークで示されている。また、ひとロメモや英語名などがページ下に掲載されており、分かりやすい工夫がなされている。題材での学びを生活に生かすことができるように「生活に生かそう」で具体例が示されており、生活の中から問題を見つけやすいように題材の初めに着目させたい写真等が掲載されており、工夫が見られる。
- ・作品例は多く掲載されているが、調理実習の際の片付けまでの写真の掲載が見られない。
- ・学習内容を細かく分けているため単元数が多く、複雑になりすぎており、まとめた方がよいのではと思われる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・教科書の大きさがA B版になっており、調理実習の際、扱いやすい。
- ・巻末に家庭科学習でよく使われる用語とその英語名のページやプログラミング教育のページが設けられており、使いやすいものになっている。

(3) 総合所見

- ・具体的な活動が示されるとともに、言語活動例が充実している。
- ・さまざまな場面で拡大写真や着目させたい写真等が掲載することで、細部の理解を図ることができるように工夫されている。
- ・基礎基本の定着を図るため単元数を減らし、2学年の系統性を分かりやすく表示したり、学習内容の充実を図ったりした方がよいのではと考える。

教科 体育

種目 保健

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				301	301	501	501

(1) 内容の特徴及び表現

- ・単元の冒頭に学習内容から目標へとつながる流れが示されている。「気づく・見つける、調べる・解決する、深める・伝える、まとめる・生かす」の4つのステップで学習が進められ、ステップ4では大事な言葉の確認や学習後のふり返りを記述する欄が設けられており、学習内容が定着するように工夫されている。
- ・「深める・伝える」コーナーでは、学習したことを基に考えたり、友達と意見を交流したりして記述する欄が設けられており、児童を活動させるための工夫がみられる。
- ・教科書にDマークがあるところでは、インターネットに接続することで、動画等を視聴しながら詳しく学習ができるようになっている。
- ・他の教科等の学習内容につなげられるように、各単元のはじめに、学習内容に関連する教科名や学年が示されている。
- ・小単元のはじめで「学習の課題」と「学習の進め方」が明記されている。小単元のおわりには、学習内容を実生活につなげられるような資料が示されている。
- ・第3・4学年では、思春期の体つきの変化を写真やイラストで紹介している。児童が面白がったり、恥ずかしがったりすることが懸念される。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・学習内容の構成・配列はよく、バランスよく各単元に配分されている。
- ・全体の分量がやや多い。そのため、ページ数もやや多くなっている。
- ・A4版の大きさに多くの情報が記されているため、児童にとって情報過多であるように思われる。
- ・児童にとってわかりにくい用語については「解説」のコーナーが設けられており、簡潔な説明が記されている。

(3) 総合所見

- ・単元の導入では、身近な内容の絵や写真が使われ、単元全体を通した課題が提示され、児童が学習課題をつかみ、見通しをもちやすいように工夫されており、授業ユニバーサルデザイン化を進める視点からも、これは重要な点と考える。また、発展的な資料が多く、児童の学習意欲を喚起する工夫がされている。
- ・全体的に分量・ページ数が多く、情報量も多いため、情報をもう少し絞った方が、児童にとって読み取りやすくなると感じる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
4・大日本		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				302	302	502	502

(1) 内容の特徴及び表現

- ・ 単元のはじめに、学校や地域での生活の様子がイラストで大きく描かれており、「キャラクターを見つける」という楽しい活動から、普段の生活における学習課題につながるように工夫されている。
- ・ 課題について自分の考えを发表或し、友達の考えを聞いたりして取り組む「話し合ってみよう」の活動が多く取り入れられている。話し合い活動を円滑に行えるように、話し合い活動の進め方が「この教科書の使い方」に示されている。
- ・ 単元末では、学習したことを振り返り、毎日の生活に活かすことができるよう、具体的に考えて記述する欄が設けられている。さらに詳しく学習するために、「たのしいほけんウェブ」にアクセスすることで、インターネットの動画や資料を使って学習することができる。
- ・ スクールカウンセラーやほけん室の先生といった専門的な立場の方が登場し、内容を分かりやすく説明している。
- ・ 各単元の終わりには、「もっと知りたい」のコーナーがあり、学習内容を発展させる資料が示され、各単元のまとめのページが設けられている。
- ・ 第3・4学年では、思春期の体つきの変化を男性と女性の裸のイラストで紹介している。児童が面白がったり、恥ずかしがったりすることが懸念される。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 全体の分量が適切であり、学習内容がバランスよく各単元に配分されている。
- ・ 各小単元では、「やってみよう」「話し合ってみよう」や「活用して深めよう」といったコーナーが設けられているが、これらのコーナーが各時間によって様々な配列であるため、児童にとってやや見通しをもちづらいのではないかと思う。
- ・ 巻頭ではマークやキャラクターにより学習や活動の進め方が示されている。1単位時間の学習が見開きのページで示され、各ページに「ミニちしき」が複数紹介されている。

(3) 総合所見

- ・ 本文の記述に関連したイラストや写真、グラフ等が適切に掲載されている。各単元の終末には、自分が今後生かせる内容を記述させるようにしており、キャリア教育を推進する観点から有意義なことであると考えられる。
- ・ 児童が見通しをもって授業に取り組みやすくするために、各時間の学習活動の進め方を統一する等の配慮が必要である。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者 番号・略称		教科用図書番号					
207・文教社		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				303	303	503	503

(1) 内容の特徴及び表現

- ・身近な生活場面がイラストで紹介され、現在の自分の生活を振り返ってから学習課題について調べたり考えたりしていくように示されている。イラストが複数取り上げられており、吹き出しを使って説明を加えたり、比較したりする等の構成となっている。
- ・今までの自分の生活を振り返り、今後どう活かしていくのかを考えて記述する「新しい自分にレベルアップ」のコーナーや「わたしの〇〇宣言」のコーナーが設けられている。体の仕組みや歯の健康、たばこの害等を詳しく調べられるよう、HPのアクセスが示されている。
- ・実生活へつなげるために目標を立てる活動として、各単元末に「わたしの〇〇宣言」コーナー設定されている。第3・4学年では、運動習慣と新体力テスト合計点の関連がグラフで示されている。第5・6学年では、相談の仕方・受け方について取り上げられている。
- ・第3・4学年では、学校給食に地元の食材や郷土料理が取り入れられていることについて示されている。第5・6学年では、自助・共助・公助の連携の必要性や喫煙の害から健康を守る日本の取組が取り上げられている。
- ・巻末には、学習後の実生活の健康について考えを深められるように、第3・4学年では、「わたしのすくすく宣言」、第5・6学年では「わたしのいきいき宣言」のコーナーが設けられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・新学習指導要領の配列に合わせて各学年の学習内容が配列されている。第3・4学年のイラスト・図・表・写真等の資料の分量も児童の発達段階に合っていると思われるが、第5・6学年については、1ページに示されている内容がやや多いように感じるページもある。また、振り返りでの書き込み欄は、単位時間毎にあるが、「話し合ってみよう」等の活動中の書き込み欄があった方が、児童の学習内容の理解が深まるのではないかと考える。
- ・1単位時間2ページの見開きページで示され、「調べよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」等の3～4の学習活動として設定されて統一した学習活動になっている。
- ・本文などで使用されている書体や文字の大きさは、児童の発達段階を考慮してあり、まとめの文章には背景色が付けられ、重要な言葉や文章が太文字で表記されている。

(3) 総合所見

- ・表紙が、同年代の子どもの写真であるため、親しみをもちやすい。各単元の導入で、学習に関連するイラストや写真が示され、1単位時間の学習内容が2ページ見開きで示されているため、児童は学習の見通しをもって取り組む事ができる。また、各単元末に「わたしの〇〇宣言」コーナーが設けられているため、自分の課題として考えを深め活かしていけるような構成になっている。
- ・アスリートの紹介はあったが、自分たちの健康や安全を支えている職業に就いている人びとについての紹介があると、キャリア教育を推進している玉野市の児童にとって有効であると思う。
- ・第5・6学年においては、ページ数は少ないが、1ページの情報量が多いため、内容の精選と配置を工夫することで、児童にとって分かりやすく読みやすいものになるのと考えられる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
208・光文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				304	304	504	504

(1) 内容の特徴及び表現

- ・トップアスリートから小学生へ向けてのメッセージが掲載されており、キャリア教育の観点からも、健康でいることが、何をするにも力になることを実感できるように工夫されている。
- ・児童が学習内容を身近に感じられるように、これから学習する内容を4コマ漫画形式で示している。また、4コマ目に問いを児童に対して投げかけていることで、これから始まる学習への関心を高めることに繋がっている。
- ・児童の思考に寄り添った疑問、考えを広げるための視点、課題の解決に結びつくヒントやポイントを、キャラクターの発言で掲示することで、課題を自分ごととして捉えたり、主体的に学びを進めたりすることができるように工夫されている。
- ・児童が自分の考えをしっかりと書けるように、また、記入しやすいように、学年に応じてスペースを確保している。
- ・カラーバリアフリーの観点から配色や色にかかわる表現を確認し作成されているので、目に優しく、落ち着いた配色となっている。しかし、全体的に淡い配色になっているため、着目すべきポイントがわかりづらくなっていると感じる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・各単元の学習内容に関する問いかけを、もくじの単元名の下に児童向けの言葉（例：けんこうでいるために生活って、どんな生活なんだろう？）でわかりやすく記している。また、他学年の学習内容も示し、学習の系統性を明確にしている。
- ・1時間ごとの授業を全単元、見開き1ページで展開している。また毎単元、同じ流れで構成されているので、学ぶ学習過程がわかりやすくなっている。
- ・QRコードから学習内容に関連する動画を再生できるようにすることで、文字や写真だけではわかりづらい内容を、視覚的に理解できるように配慮されている。

(3) 総合所見

- ・全単元を通して、学習の流れを統一しているため、見通しをもって学習を進めることができる。また、4コマ漫画やキャラクターを活用することで、児童が主体的に課題解決学習に取り組んだり、自分の興味・関心に応じて学びを広げ、深めたりすることができるよう工夫されている。
- ・本文の文字数が多く、文字の大きさやイラスト、写真が小さいため、学習のポイントが絞りづらく、内容の理解が深まりにくいと感じる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 体育	種目 保健						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
224・学研		1年	2年	3年	4年	5年	6年
				305	305	505	505

(1) 内容の特徴及び表現

- ・ 巻頭に1時間の学習の進め方が紹介されており、この時間に学ぶことを確認してから「つかむ、考える・調べる、まとめる・深める」の段階で学習が進むように示されている。知識を解説するために、保健室の先生、学校医、薬剤師等のキャラクターが設定されている。
- ・ 「じっけん・実習」コーナーでは、具体的な場面で実際に確かめる活動が取り上げられている。学習を広げ深めるため、教科書サイトが紹介されている。
- ・ 小單元ごとに「まとめる・深める」コーナーがあり、学びを活用したり生活につなげたりする活動が取り上げられている。実生活の場面への活用として、第3・4学年では、睡眠の必要性や良い睡眠をとるための工夫が示されている。第5・6学年では、いじめの例が示され、対処方法について取り上げられている。
- ・ 第3・4学年では、給食の献立や家での食事から郷土料理を見つける活動が紹介されている。第5・6学年では、巻頭で日本人による海外での保健活動の様子や医学・保健分野で世界的に活躍した日本人について取り上げられている。
- ・ 学習意欲が喚起されるよう、学習内容を発展させる資料が、「もっと知りたい・調べたい」のコーナーで紹介されている。巻末に第3・4学年は、学習したことを生活に生かそうと思ったこと、第5・6学年は、自分の夢や希望を書く欄が設けられている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 新学習指導要領の配列に合わせて各学年の内容が配列されている。各内容は、児童の心身の発育・発達に適切しており、身近な問題・自分の問題として取り組む事ができるように工夫されている。
- ・ 1単位時間2ページの見開きページで示され、見通しをもって学習できるように配慮されている。
- ・ 新学習指導要領の改訂をふまえ、随所に「関連」を設け系統的に学習ができるように工夫されている。
- ・ 本文などで使用されている書体や文字の大きさは、児童の発達段階を考慮してあり、見出しや文章の表現は、児童が無理なく理解できるような簡潔で平易なものになっている。
- ・ 全ページカラー刷りで、図・表・イラストや写真等は端的で分かりやすく、また色彩がソフトで見やすいように配慮してある。

(3) 総 合 所 見

- ・ どの單元も学習の進め方や、使われている学習用語が統一されているため、児童にとって見通しをもって学習を進められ、県教育委員会が進める授業5の流れで授業を行うことが可能である。また、「友だち」マークや共有マークを示し、教え合う、学び合う活動を設け、主体的・協働的に活動する態度が育成できるように工夫されている。
- ・ 「健康や安全を守る人」を随所に登場させ、「みんなの健康を守るさまざまな仕事」としていろいろな職業を取り上げていることは、キャリア教育を推進している玉野市の児童にとって自らの将来を考えるためにとっても有効であると考えられる。

教科 外国語

種目 英語

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						501	601

(1) 内容の特徴及び表現

- ・各ページに解説が詳しく記述されているため、児童が理解しやすくなっている。しかし、1ページごとの文字が小さく、字数が多いため、情報量が多くなり、読むことが難しい児童にとっては、負担感があると考えられる。
- ・各単元の終末に、学習した表現を使って自己表現をする活動が設定されているが、1時間ごとの授業の中では、自己表現をする場面が設定されていないため、工夫が必要である。また、英文を読む分量が多すぎて児童の負担になることが考えられる。
- ・各単元にある「日本のすてき」では、外国人が日本のよい文化を紹介しているインタビューを聞くことができ、児童が日本のよさに気付くことができるようになっている。他にも日本という国に目が向くような内容が多くなっている。
- ・各活動にQRコードがついており、読み取ると、英会話を聞いたり、動画を見たりすることができ、児童によっては、家庭学習がしやすくなっている。
- ・写真やイラストが多く、児童にとって分かりやすく、楽しく学習することができる。ただし、いろいろな種類のイラストがあるため、少し雑然とした雰囲気になっている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・読み物資料が巻末に設定されており、ページをまたぐことが児童の負担になると考えられる。
- ・別冊で、英単語の意味を絵で理解する「Picture Dictionary」が付いており、児童の学習の支援になる。
- ・紙が分厚く、ページをめくりやすいことや、単語カードに切り取り線があることなどから、児童が使用しやすくなっている。
- ・ドリル的な内容が少なく一冊のページ数が少ないため、児童の負担感が少ないと考えられる。

(3) 総合所見

- ・日本に関する内容が多く取り上げられており、自国を大切にすることを育てることができ、他国について理解しようとする態度の育成につながると考えられる。
- ・児童に分かりやすいように写真やイラスト、説明などが多いが、そのことによって、やや雑然とした感じになっている。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
9・開隆堂		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						503	603

(1) 内容の特徴及び表現

- ・イラストや写真が多くあり、文字が大きいため、児童が見やすく、また、話したり聞いたりする活動中心の授業をしやすくなっている。
- ・見開き1ページで1時間の授業の流れになっているため、児童も授業の見通しが立ち、教師も指導がしやすい。
- ・各単元にQRコードがついており、読み取ると、英会話を聞くことができ、児童によっては、家庭学習がしやすくなっている。
- ・フォントが児童が実際に書くものに近く、書いたり読んだりしやすくなっている。
- ・単元によって新学習指導要領では、自己表現が重視されているが、単元によっては、自己表現の活動が設定されていないものがあり、指導上、工夫が必要である。
- ・イラストのデザインがいろいろな種類のもが使われており、少し雑然とした印象がある。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・1時間の授業に、「聞く」「チャンツ」「ゲーム」「話し合い」「自己表現」と様々な活動が設定されていて、バランスよく児童の資質・能力を育てることができる。
- ・巻末に、「単語リスト」という英単語の意味が分かるページがあり、児童の学習の支援となる工夫がされている。
- ・教科書のサイズが大き過ぎず小さ過ぎず、児童が扱いやすい。
- ・巻末にドリル的な内容のページが5年生で23ページ、6年生で26ページ、と多くあり、学習の補充ができるが、児童によっては負担感が大きいと考えられる。

(3) 総合所見

- ・児童が興味をもちやすい工夫があり、また内容や表現及び、学習の流れが適切で児童が学習しやすいものになっている。
- ・巻末のドリル的な内容のページの多さが児童の負担になる可能性があり、課題の提示などの工夫や配慮が必要である。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						504	604

(1) 内容の特徴及び表現

- ・外国や日本の文化、他教科に関連する学習ができるように工夫されている。
- ・自分の将来や職業に関する内容や、自分の地域に関する内容が多くあり、キャリア教育を進めていく上で有効である。
- ・挿絵や写真が分かりやすく、児童の興味をひくものになっている。
- ・学習指導要領の「聞く・話す・読む・書く」がバランスよく配置されているが、単元の終わりの「書く」内容が難しく、また分量が多い。
- ・数や値段などを尋ねる表現、過去形、命令形など、1学年で取り上げている表現がとても多い。そのため、一つの表現を1時間で学習するようになり、定着が難しいように感じられる。
- ・1時間の学習内容が1ページに配置されている関係で、文字が小さく、1ページの情報量が多いため、児童にとっては読みにくいように感じられる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・単元のはじめに目標が明記してあり、それに沿った振り返りの欄が単元の終わりに配置されている。児童が主体的に見通しをもって学習を進めることができるように工夫されている。
- ・前学年で学習した表現が巻頭に載せられており、下の学年で学習した内容が上の学年で生かされるように工夫されている。
- ・巻頭によく使う表現のページ、巻末に重要語句のページが設けられており、使いやすいものになっている。
- ・A4版で150ページ以上あり、全体的に分量が多い。

(3) 総合所見

- ・自分たちの地域や他教科との関連を多く取り上げるなど、児童が興味をもって学習を進められる工夫が随所に見られる。
- ・学習する表現や内容が多く、児童によっては十分に理解や定着をしないまま、次時に進んでしまう可能性もあり、配慮が必要である。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
15・三省堂		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						505	605

(1) 内容の特徴及び表現

- ・知識や技能の習得を行う「Step」の「Listen and Talk」では、聞く活動を行う際には線結びなどのやさしい活動から始まり、学習した表現を使って友達と伝え合う活動が設定されている。
- ・「Try」では、買い物・時差・道案内など実生活での活用を図る内容が取り上げられている。
- ・友達との良い関わりについて考える活動や、自分の将来について考える学習などが取り上げられており、キャリア教育を進めている玉野市では有効であると考えられる。
- ・第5学年から書く活動が設定されているが、なぞり書きや写し書きなどスモールステップで指導ができ、児童に負担を感じさせない工夫がされている。
- ・文字を読む活動では、短文を聞きながら、指で文字を追っていき、聞きなれた文を読むように工夫されている。
- ・場面や状況を表すイラストや写真が簡潔に示されていて、児童が理解しやすいように配慮されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・学期ごとに「HOP」「STEP」「JUMP」サイクルで学習を行い、既習の内容を生かして段階的に学習ができるように構成されている。「HOP」では、学習の見通しを持つことができるように「My Goal」を設定することができる。「JUMP」の中の「Presentation」の活動に向けて「誰に」「どんなことを」「その理由は」など活動の目的を明確にできるようになっている。
- ・「Word Chants」がその単元で必要な言葉を取り上げたり、フォニックスの要素を取り入れたりするなど工夫されている。
- ・単語と単語の間を空けていることやピリオドの意味などについて、必要に応じて解説が設けられている。
- ・巻頭にはよく使う表現や会話を続ける工夫が例示されており、巻末には学習に必要な言葉が種類ごとに分類され、分かりやすく表現されている。

(3) 総合所見

- ・学期ごとに大単元で「HOP」「STEP」「JUMP」の構成になっており、児童が単元ごとに身に付けた言葉や表現を意識しながら、学習を進められるように構成されている。
- ・児童が学習に興味を持ちやすいようにイラストが示されたり、聞く活動を多く取り入れたりしており、負担を感じず学習に取り組めるように構成されている。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						506	606

(1) 内容の特徴及び表現

- ・「Let's Listen」や「Activity」などで言い慣れた表現を用いて、「Final Activity」でやりとり発表を行うように単元構成が工夫されている。
- ・単元の振り返りとして、Can-do リストに則った項目で振り返りの例が表現されている。
- ・「Let's Look at the world」では、世界の学校の様子やアメリカの手話、外来語など児童が外国の文化に興味を持ちやすいように工夫されている。また「Sounds and Letters」では、英語とカタカナ語の違いや r と l、h や f の違いに気付きやすくなるように工夫されている。
- ・文字を書き写す指導では、4本線を区切ることで、単語と単語の間を空けることに気付きやすくなるように工夫されている。
- ・第6学年で「We」の表現や過去形の表現が扱われるが児童の理解を助ける工夫が必要である。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・本課数は9で、各課は「Let's Watch」「Let's Say it together」「Let's Listen」「Activity」等の後に「Sounds and Letters」「Review」が配列されている。
- ・聞いたことや友達へのインタビュー内容を教科書に書き込めるようになっている。
- ・付属のシールやワークシートを使用し、児童が自分の考えたメニューや時間割を発表できるように工夫されている。
- ・学習で使う教科書付属のカードに切り取り線がついており、授業の際にすぐに使えるように工夫されている。

(3) 総合所見

- ・簡潔なイラストや写真を用いることで、児童が文字の読み書きで負担を感じないように配慮がされている。
- ・単元構成が工夫されており、単元のふり返りも充実しているので、児童が理解を深めることができるようになっている。また、巻末のワークシートやカードが使いやすいように工夫されている。
- ・英語だけで表現されたページがあるなど、やや児童にとって難しいページもあるので授業の流れなどの工夫も必要な場面もある。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
38・光村		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						507	607

(1) 内容の特徴及び表現

- ・ 単元構成が、児童の資質能力をバランスよく向上させられるようなものになっている。
- ・ 学習する表現が難しいだけでなく、1ページの中の英語の分量が多いため、児童の負担感が強くなると考えられる。
- ・ 書く活動が随所に見られており、書く活動への工夫が見られる。
- ・ 巻末に、絵辞典や学習した表現などのページを見て、振り返ることができるように工夫されている。しかし、配置や英語の量が多い点で見づらく、工夫が必要である。
- ・ 教科書に出てくるイラストが様々な種類になっているので、統一性がなく、児童にとって見づらいつと考えられる。
- ・ 文字の形は、児童が実際に書く字体と類似しているため、書きやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 全体的に分量が多く、児童の負担になることが考えられる。
- ・ 教科書のサイズは、適切で、巻末に絵辞典や学習した表現などのページが設けられている。
- ・ 巻末の絵カードは見やすくてよいが、切り取り線が付いていないため、切る作業に手間や時間がかかる。
- ・ 「We can」と類似した単元構成になっているため、教師が指導しやすく、児童の理解を深めることができる。

(3) 総合所見

- ・ 単元構成や学習活動が、児童の資質能力をバランスよく向上させられるようなものであり、指導の際に、困難なく取り組める。
- ・ 学習活動の中に書く活動を取り入れており、毎時間、書く活動に取り組むことができる。
- ・ イラストがバラバラであるため、やや見づらく情報量が多いため、一年間ですべてを学習するのが難しいと感じる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 外国語	種目 英語						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
61・啓林館		1年	2年	3年	4年	5年	6年
						508	608

(1) 内容の特徴及び表現

- ・ 単元構成が、新学習指導要領に対応しており、全学習指導をスムーズに取り掛かれるものになっている。
- ・ 書く活動が随所に見られたり、1時間の振り返りをチェックするところが上部についていたり、児童の意欲がわくような構成になっている。
- ・ 1つの単元で学習する情報量が多く、児童の負担感が大きいと考えられる。
- ・ 巻末に、絵辞典や学習した表現などのページが、Unitごとで区切られており、振り返りがしやすいように工夫されている。
- ・ 単元ごとの流れがはっきりしており、教師が指導しやすく、また、児童も見通しがもちやすく、抵抗感が少ないと考えられる。
- ・ 文字の大きさやイラストが見やすく、絵カードの下にもアルファベットが書かれてあるので、視覚的にも分かりやすい。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・ 学習内容がバランスよく各単元に配分されており、全体のページ数や分量も適正である。
- ・ 教科書のサイズは適切であり、巻末に絵辞典や学習した表現などのページが設けられている。
- ・ 「We can」と類似した単元構成になっているため、教師が指導しやすく、児童の理解を深めることができると考えられる。
- ・ 巻末の絵カードに切り取り線が付いているため、活動の際に切りやすく、時間がかからずスムーズに活動に取り組めるようになっている。

(3) 総合所見

- ・ 全体的に「We can」と似ている単元構成や学習活動になっているため、活動の際に、比較的困難なく取り組めるように考えられる。
- ・ イラストの統一性があり、見やすい図版になっているため、意欲をもって学習に取り組めると考える。しかし、全体の英語の分量が多いため、やや児童の負担感が大きいと考えられる。

教科 特別の教科 道徳

種目 道徳

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		101	201	301	401	501	601

(1) 内容の特徴及び表現

- ・第1学年の始まりの、スタートカリキュラムを意識した教材が組まれている。
- ・2学年ごとに同一の主題で示されている。
- ・児童に考えさせるような内容や仕掛けがある教材であり、問いも優れている。
- ・第1・2学年では、教材名の下に導入となる問いが示されている。第3学年以上では、教材末に主題について考える問いや、自分を振り返るための問いが示されている。
- ・喫緊の課題である「情報モラル」「いじめのない世界へ」を題材にした教材が、全学年に取り上げられている。特にいじめ問題については、2つの教材を組み合わせることで、いじめ防止の効果を高める工夫がある。
- ・問題解決的な学習として、「問題を見つけて考える」を第3学年以上に取り上げている。問題意識を高める言葉で投げかけ、話し合いの手引きとなる「考えるステップ」他者との考えを比べ自分の考えが深められる仕組みがある。
- ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度にかかわる教材が、第1・2学年では1題ずつ、第3学年以上では2題ずつ提示されている。国際理解、国際親善にかかわる題材が、第1～4学年では1題ずつ、第5・6学年では2題ずつ提示されている。
- ・「出会う・ふれ合う」読み物教材で道徳的価値について学習し、コミュニケーション活動を通して人間関係を築く中で、個人の価値を尊重したり、よさを伸ばしたりする学習活動が、全学年に2か所ずつ提示されている。
- ・情報モラルでは、保護者とともに考える「家の人といっしょに考えよう」が、掲載されている。
- ・各学年に1ページずつ新しく「活動型教材」が設定され、これまでの経験や考えをもとに、多角的・多面的に考えるよう工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・学習指導要領の4つの視点をマークで示し、教材のタイトルに、わかりやすい言葉で「学習のテーマ」を掲載している。それは、目次にも反映されている。
- ・導入に、道徳授業のステップや「なりたい自分」などを入れ、オリエンテーションを行える。
- ・巻末に「学習の記録」「学習の振り返り」「学習のまとめ」を掲載し、児童が自ら成長を実感したり、評価に活用したりできる工夫がある。
- ・文章だけで理解することが難しい児童でも内容を把握しやすいようにイラストを入れたり、漫画形式にしたりしている。囲みをつけたり色分けをしたりして見やすい工夫がある。

(3) 総合所見

- ・学習指導要領の内容をもれなく扱い、教材の配列も児童の発達段階に配慮し、適切に配列されている。
- ・現代的な課題などを取り上げ、児童が自分事としてとらえ、多面的・多角的に話し合いが取り組めるような活動が示されている。さらに、自己の生き方について考えを深めるような学習活動の工夫もある。
- ・文字の大きさ、絵図の色、写真等見やすく、ユニバーサルデザインに配慮されている。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		102	202	302	402	502	602

(1) 内容の特徴及び表現

- ・「きづき」本文には、4つの視点のマークと教材名が示されている。内容項目、主題、発問がなく、児童が問題に気付くよう工夫されている。「まなび」には、内容項目と主題名が示されている。
- ・「まなび」にある「考えよう」「見つめよう」では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、友達の考えを取り入れ、自分の考えを深められるような活動が示されている。
- ・全学年で「情報モラル」が取り上げられている。また、いじめをなくすことや周りの人との関係について深く考える「ともにいきる」は、全学年に複数取り上げられている。
- ・「やってみよう」では、登場人物の役になって考えるように、役割演技を通した体験的な学習が取り上げられている。
- ・伝統と文化の尊重と国や郷土を愛する態度に関わる題材が、第1～4学年で1題ずつ、第5・6学年で2題ずつ示されている。また、国際理解、国際親善に関わる題材についても、第1～4学年で1題ずつ、第5・6学年で2題ずつ示されている。
- ・「まなび」にある「みつめよう」では、学習したことを通し、自分の経験や実態と照らし合わせるなど自己を見つめ、具体的な行動が考えられるような問いが示されている。また、そのあとの「つなげていこう」では、自己の未来につなげる振り返りができるようになっている。
- ・コラムに全学年「スポーツだいすき」を配し、オリンピック開催後にもスポーツの精神やその意義を含めて考えられるように工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・「きづき」と「まなび」の2冊で構成されている。「きづき」は指導順に「まなび」は内容項目で配列されている。一教材につき見開きの2ページで扱い、複数の教材を関連付けて構成されている。
- ・「まなび」の「こころのパレット」では、2学年単位でタイトル名を統一し同じ課題に対する発達段階の変化を見取れる工夫がある。

(3) 総合所見

- ・道徳的価値や課題に気付かせる教科書「きづき」と、気付いたことを議論し深める「まなび」の2冊で構成されており、問題解決能力の育成を意図している。
- ・「まなび」は、評価のためのポートフォリオとしての活用が効果的であるが、「きづき」に主題や発問がないため、児童によっては取組が、難しくなると考えられる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		104	204	304	404	504	604

(1) 内容の特徴及び表現

- ・主題についての問いかけが動機づけとなるような導入が工夫されている。
- ・「学びの手引き」として、「考えよう」では、ねらいとする道徳的価値に深く関わる中心発問や道徳的価値を実現するよさや難しさを理解できるような発問が設定されている。
- ・「やってみよう」では、役割演技を通して共感的な理解を図ることができるような工夫が示されている。また、「スキル」では、今後の生活における具体的な道徳的行為を考える体験的な学習が各学年で掲載されている。
- ・「深めよう」では、自らの経験を振り返りながら、教材から学んだ道徳的価値を自分の言葉でまとめる活動が示されている。
- ・「つなげよう」では、日常の実践場面における具体的な行動を考えることができるような学習が設けられている。
- ・全学年で情報モラル、共生、命を題材にした教材が取り上げられている。
- ・第1・2学年の巻末では、礼儀・姿勢・マナーが扱われている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・本教材30本と補充教材5本（1年4本）で構成されている。
- ・内容項目を連続して扱えるよう配列し、問題意識を継続しながら学べるよう構成されている。
- ・他教科や学校行事などとの関連が図りやすい教材配列になっている。
- ・巻頭に「道徳では、こんな学習をするよ」で、学習の流れが分かるように示されている。
- ・巻末には、1時間ごとの学習内容の記録ができるようになっていて、1年間の振り返ることができるページが設けられている。「家の人から一言」の欄もあり、家庭との連携を図ることができるようになっている。

(3) 総合所見

- ・学習指導要領に即した内容構成とバランスのよい学年別配列であり、道徳的行為に関する体験的な学習として取り組めるような工夫も随所にみられる。
- ・日常の実践場面における具体的な行為を考えることにとどまってしまうことが考えられる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
38・光村		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		105	205	305	405	505	605

(1) 内容の特徴及び表現

- ・「考えよう・話し合おう」では、まず問題意識をもたせる問い、次にねらいとする道徳的価値についての問いが示されている。
- ・「心を通わそう」では、他者への言葉かけ等、具体的な道徳的行為を体験し、自分の考えを表現する活動が示されている。
- ・「演じて考えよう」では、役割演技ができるような学習活動を設定するだけでなく、見る側のポイントも示されている。
- ・題材末の「つなげよう」では、日常生活や他教科等の学習に生かす視点や、実際の活動を促す視点が示されている。また、関連する図書の紹介、言葉に注目したページや話し方のこつ等、言語活動に関するページが設けられている。
- ・学期ごとに「学びの記録」や「まとめ」により、自分の学びを振り返り、学んだことを生かしていきたいと考えたことや自分が自分で変わったと思えたことも書き残し、記録できるようになっている。
- ・学年に応じて、「情報と向き合う」「いじめを許さない心」「世界とつながる」等の題材が掲載されている。
- ・情報モラルについて各学年1題ずつ掲載されていて、題材前に「情報と向き合う」が示されていたり、日常生活からコラムとして情報を取り入れるなど工夫がされている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全35教材（1年生34教材）と付録が設けられている。
- ・1年間を3つの学習のまとまりに分け、それぞれの最初の扉絵で学習のテーマが示され、3つの期ごとに「学びの記録」が設けられている。
- ・共通する主題の教材を連続して扱い、問題意識を継続しながら考えを深めていくような配列がされている。
- ・巻頭では、「道徳の時間は」では、「話し合って・演じて・読んで・書いて、考えよう」で、様々な考え方が紹介されており、それを大切にしながら学ぶ学び方が示されている。
- ・紙面サイズが小さく、1ページにおける文字や挿絵などが多くなり、読みにくく感じられる。

(3) 総合所見

- ・学習指導要領に即した内容構成になっており、低中高それぞれの発達段階に応じた教材が選定されている。
- ・対話を通して、多面的・多角的に捉える工夫も随所にみられる。
- ・文字数が多く、教材が読みにくかったり、イラストが控えめで、児童の興味を引きにくかったりする印象がある。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		106	206	306	406	506	606

(1) 内容の特徴及び表現

- ・道徳科における児童の“学び方”を重視している。学び方の例示も実写をたくさん使っていてわかりやすく、実際の授業の様子がイメージしやすい。
- ・教材のテーマが題名の前に端的に示してあり、わかりやすい。また、テーマと共に、教材の題名の後に、登場人物のイラストとあらすじが一文載せてあり、教材の内容を捉えやすくしている。
- ・教材前に問題意識をもたせるための主題についての問いがあり、教材末の「考えてみよう」では、中心人物と自分を重ねて考える問いが示されている。
- ・巻末に内容項目ごとに教材を分類した「学習内容一覧」があり、“いじめ対策”“情報モラル”などというように、テーマ別も示されており、指導内容が分かりやすくなっている。また、“関連のある教科”を示すことで、他教科にわたる関連的な学習を展開しやすいようにしている。
- ・教材末の「見つめよう、生かそう」では、学んだことをもとに、自分の生活を振り返り、これからの自分を考えるような問いが示されている。
- ・いじめ、持続可能な社会等のテーマについては、教材後に「心のベンチ」が設定され、いじめ防止に関わるだけでなく、人間関係づくりなどを楽しく体験的に学んだり、問題解決に向けて話し合いを促したり、関連した学習や自分の行動を見直したりする活動が設けられている。
- ・35の教材のうち、6つの教材の後に「学習の手引き」がある。イラストや実写に吹き出しをつけて、具体的な補助発問・主発問・役割演技の提案など、教材の中から問題を見つけて解決に向かうための具体的な学習活動が4段階で示されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・別冊で道徳ノートがあるが、1つの教材について「考えよう」の問いの考えを書く欄と自由に使える欄とが設けられており、ある程度使い方に自由度のあるノートになっている。また、1・2年のノートは、イラストやマス目などの工夫で発達段階に即した書き込みができるようになっている。
- ・ノートの中に授業を振り返り評価する欄があるが、丸印だけなので、児童が記録しやすい。
- ・ノートの最後に、教材の中で“心に残った話とその理由”を書き、保護者もそれについてコメントを書く欄が設けられている。このページを活用して、家庭で道徳教育に関わる意識を高めるよう呼びかけやすくなる。

(3) 総合所見

- ・どの学年も児童の発達段階に合わせて身近な題材を設定している。また、人との関わり方を重点テーマの一つとし、現代的課題である「いじめ問題」については、直接的・間接的に扱った教材を組み合わせて集中的に学習することで、多様な切り口から考えられるようにしている。
- ・「学びの手引き」によって指導の方針を示しつつ、児童の実態に合わせ、問題意識を持たせるための問いなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がされている。
- ・ノートに中心発問が書かれているため、学習活動の工夫の幅が広がりにくい。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
208・光文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		108	208	308	408	508	608

(1) 内容の特徴及び表現

- ・教材のはじめに、教材を通して考えたいことや主題についての問い、主題名が示されている。また、教材の流れに沿って下欄に考えるポイントが示され、教材末に、自分の経験をもとに深く考える「まとめる、広げる」に関する問いが設定されている。
- ・教材末の問いは“自己をみつめる”ためのものと、“実践のための投げかけ”とがあり、自我関与を促すような学習内容が示されている。
- ・「みんなでやってみよう」では、具体的な道徳的行為を通して、相手の気持ちを考えたコミュニケーションのとり方を学ぶ体験的な活動が示されている。
- ・巻末に「内容項目別 教材一覧表」があり、その中で内容項目とは別に教材ごとに“いじめ”“防災”など、「現代的課題」を示しており、教材のテーマを意識しやすくなっている。
- ・1年生からスマホに関する教材を入れており、情報モラルに関して早期からの学習を心掛けている。
- ・1～5年生の教材で「いじめ」（いじめを生まない心）の教材が多い。記号でも示し、児童も意識して学習できるようにしている。また、6年生では「いじめ」に関する教材が少ないが、「命の尊さ」に関する教材が多くなっている。
- ・教材のはじめに登場人物を示してあり、登場人物の立場を分かりやすくしている。
- ・同じ内容項目の教材を続けて学習するように計画しており、複数の教材を続けて学習することで道徳的価値の理解を深めやすくしている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・道徳ノートの使い方について、図を入れて例示してあるのが分かりやすい。
- ・「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」と、学習の仕方について示しているが、“道徳の時間として”と“この本の中で”と、繰り返し解説のページがあり、内容が重複しているように感じる。
- ・巻末に「学びの足あと」という授業記録の欄が設けてあり、学びの振り返りが記録として残せるようになっている。中・高学年は矢印で、低学年は表情の違う顔マークで心情表現することで、自己評価できるようになっているが、中・高学年の分かったことなどを“ひとこと”書く欄がとても小さく、活用しにくく感じる。

(3) 総合所見

- ・「問いをもつ」「考える」「まとめる」「広げる」の4段階で構成され、主体的・対話的で深い学びにつなげることができる。
- ・道徳的行為に関する体験的な学習等、多様な方法を取り入れた指導ができるような工夫が示されている。
- ・全体として情報量が多くなりすぎて、児童には理解が難しいと思われる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
224・学研		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		109	209	309	409	509	609

(1) 内容の特徴及び表現

- ・教材の最後に「考えよう」として、登場人物の心情にせまるための問いや道徳的価値について考えるための問いが掲載されており、考える視点を与えている。
- ・全学年で「情報モラル」「いのち」を題材とした教材が取り上げられている。特に「いのち」に関しては、全学年で2題ずつまとめて配列し、重点的に学ぶことができるようになっている。
- ・約半数の教材の教材末に「深めよう」「やってみよう」「広げよう」「つなげよう」のコーナーが設けられている。
- ・「深めよう」では、「つかもう・探そう・ふみだそう」の3段階で、問題解決に向けて考えが深まるような学習活動が示されている。
- ・「やってみよう」では、役割演技や話し合いの仕方や、それらをとおして自分の考えをもつための視点が示され、多面的・多角的に捉えるための手立てが掲載されている。
- ・「広げよう」「つなげよう」では、道徳科で学習した内容を他教科と結び付けたり、実際の生活につなげたりすることができるように工夫されている。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・全35教材（1年生34教材）で構成されている。
- ・同じテーマ（命、生き方）で、複数の教材を関連付け、1つのまとまりとして学習し、考えをまとめる欄が設けられている。
- ・巻頭に「道徳の学習が始まるよ」があり、道徳の4つ視点や学習の流れが分かるように示されている。また、巻末には「心の宝物」（心に増えた宝物や自分の成長、心に残った話などを記録する欄）があり、自分の成長を振り返ったり評価したりすることができるようになっている。
- ・イラストや写真が多く、文章だけで理解することが難しい児童でも捉えやすいが、教科書のサイズが大きく扱いにくい児童がいることも考えられる。
- ・「深めよう」「やってみよう」「広げよう」「つなげよう」のコーナーまですべて扱うとなると、やや分量が多い。

(3) 総合所見

- ・道徳的価値の理解を図り、多面的・多角的に考えることができるようにするために、どのように学習を進めていけばよいのか教科書に示されており、児童が見通しをもって学習することができる。
- ・道徳で学んだことを他教科や生活と結び付けることができるような工夫が見られる。しかし、全てを扱うとなると量が多いと考えられる。

令和2年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
232・廣あかつき		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		110	210	310	410	510	610

(1) 内容の特徴及び表現

- ・中・高学年では、教材後に「学習の道すじ」があり、ねらいや、道徳的価値について理解していくための考える視点が示されている。話し合い活動を活発にしたり多面的・多角的に考えたりすることができるようになっている。
- ・「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」「生命の尊重」に重点が置かれ、全学年、3教材3時間配当している。
- ・現代的な課題に関わる題材として、情報モラルについて考える教材が全学年掲載されている。(中・高学年では35時間+α) また、安全教育、防災教育の視点「命を守る」(低・中学年)、社会参画意識を高める「ともに生きる」(中・高学年) などの特集ページが組まれている。
- ・「道徳ノート」は、内容項目ごとに作成されており、児童の価値に対する考え方や理解度などを見取ることができる。また、一定期間のまとまりで授業を振り返りながら書き込みができる「心に残っている授業の記録」や話し合い活動で見方が広がったり深まったりしたことを書き込める「話し合い活動の記録」がある。
- ・教材後の「考えよう、話し合おう」で、自分の生活を振り返り、これからの行動について考えることができる問いが示されている。「学習を広げる」では、先人や図書の情報などが記載され、学んだことを広げることができる。

(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等

- ・本冊と別冊(道徳ノート)の2冊で構成されている。
- ・本冊巻頭の「道徳の時間はこんな時間」で学習の仕方、別冊巻末の「自分を見つめ考えよう」で振り返りの仕方を説明している。ただ、言葉だけの説明にとどまっているので、イラストや実写による説明があるとより分かりやすいと考えられる。
- ・第1学年34教材、第2学年35教材、第3学年以上では35教材と特集(情報モラルなど)が設けられている。
- ・高学年では、難解語句について下の欄に脚注をつけ、説明している。

(3) 総合所見

- ・学習内容に即した内容構成になっており、人権的な問題や、生命を守るために大切なことなど、現代的な課題についてもよく取り上げられている。
- ・「学習の道すじ」で学習のめあてを示したり理解を深めるための問いを示したりするなど、見通しをもって学べる工夫がなされている。
- ・イラストが控えめで、言葉だけの説明では内容を理解することがやや難しい印象を受ける。